



2025 会計年度

パーパスレポート



目次

はじめに

このレポートについて	2
Chuck Robbins からのメッセージ	3
5 年間の誰にとっても インクルーシブな未来の実現	4
中核にあるパーパス	5
2025 会計年度のハイライト	6
目標と進捗状況	7
Cisco におけるパーパスレポート	8

コミュニティの復元力

Cisco の危機対応	11
Cisco Foundation とソーシャルインパクトへの投資	13
スポットライト: インドで 5,000 万人の生活 に貢献	15
Country Digital Acceleration	16
学習能力とデジタルスキル	17
コミュニティ支援	20

当社の従業員

従業員の体験	23
スポットライト: AI 時代のスキルアップ	25
インクルージョン	26
従業員の社会貢献とボランティア活動	28

責任あるイノベーション

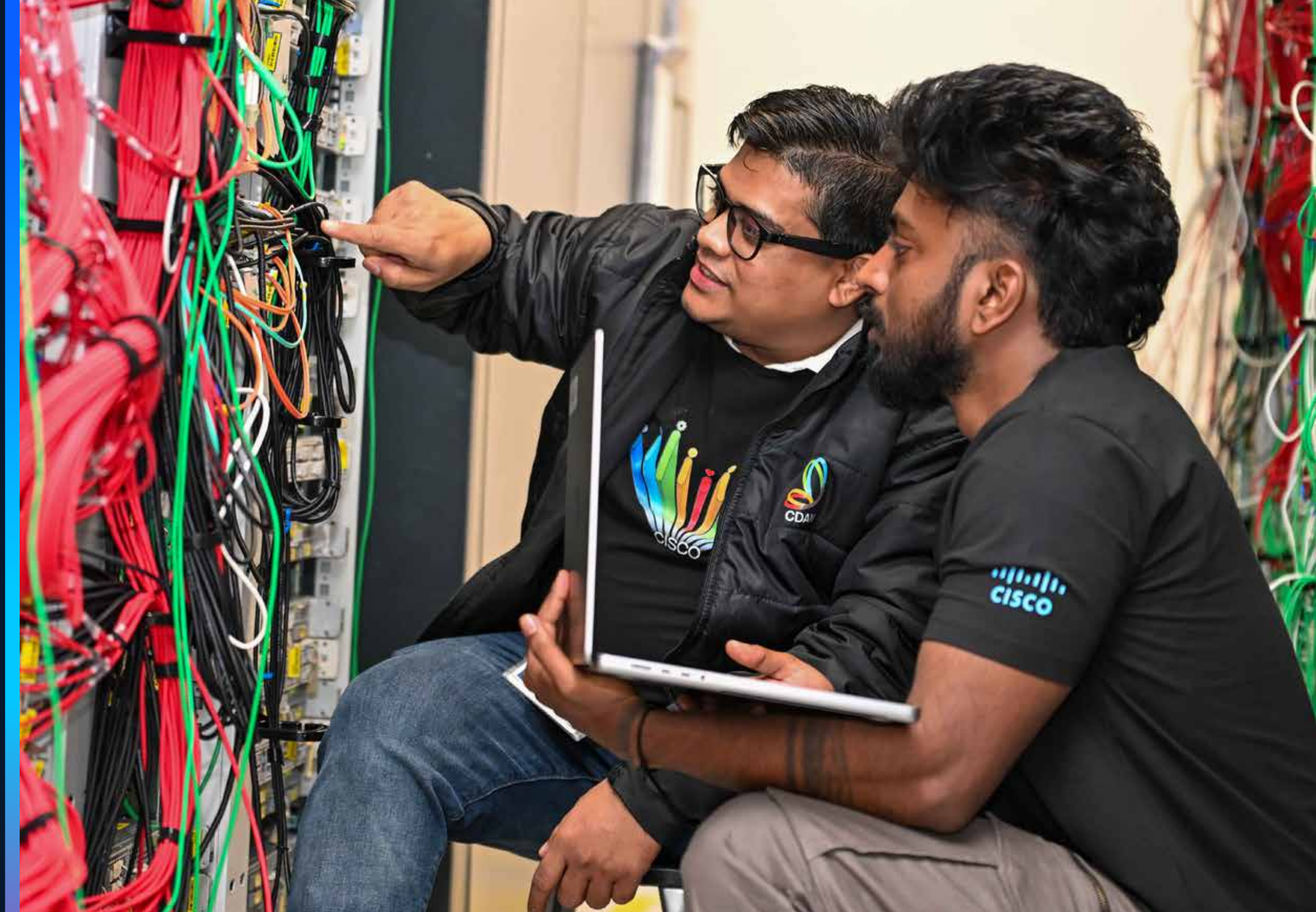
セキュリティ、プライバシー、信頼	31
スポットライト: 責任ある AI の推進	33
人権およびサプライチェーン	34
倫理と誠実さ	36
公共政策と提唱	37
アクセシビリティ	38

エネルギー効率と持続可能性

クリーンエネルギー	41
循環型変革	45
スポットライト: 100% 循環型設計の達成	46
復元力のあるエコシステム	47

今後の展望

Fran Katsoudas からのメッセージ	50
-------------------------------	----



将来の見通しを示す記述

このレポートには将来の出来事に関する見通しを示す記述が含まれています。史実の記述を除くすべての記述は、将来の見通しを示す記述とみなされる可能性がある記述です。それらの記述は、シスコがビジネスを行っている業界に関する現在の期待、予想、予測、推定、およびシスコ経営陣の信念と想定に基づいています。将来の見通しを示すそれらの記述は予測に過ぎず、予測困難なリスク、不確実性、想定 (Form 10-K および Form 10-Q で証券取引委員会に提出した最新の書類に記載されているものを含む) の影響を受けることにご注意ください。将来の見通しを示す記述はその記述を行った時点でのものであり、Cisco は将来の見通しを示す記述を更新するいかなる義務も負いません。

Cisco は、今後も ESG のイニシアチブ、目標、進捗状況について包み隠さず報告してまいります。Cisco は、最大限の進捗を目指して、意欲的なタイムラインと目標を設定しています。

最近買収したデータを分析に必要なデータストリームに統合するには時間がかかります。したがって、特に断りのない限り、このレポートに記載されている情報には、前会計年度の終了前に完了した買収のデータが含まれています。

Cisco は、外部のサードパーティと連携して、温室効果ガス (GHG) スコープ 1、スコープ 2、スコープ 3 カテゴリ 3 の排出量に関する限定アシュアランス手順を実施しました。アシュアランスは、残りのスコープ 3 の排出カテゴリ、廃棄物、水のデータについては個別に実施します。詳細については、パーパスレポートハブの[データとアシュアランスのページ](#)をご覧ください。

はじめに

■ このレポートについて

Chuck Robbins からのメッセージ

5年間の誰にとってもインクルーシブな未来の実現

中核にある目的

2025 会計年度のハイライト

目標と進捗状況

Cisco におけるパーパスレポート

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望

あらゆるものを安全に 接続して、あらゆること を可能にします。

Cisco は、人工知能 (AI) 時代における組織の接続方法と保護方法を変革している世界のテクノロジーリーダーです。AI を活用した業界最先端のソリューションとサービスにより、Cisco のお客様、パートナー、コミュニティは、イノベーションの実現、生産性の向上、デジタル復元力の強化を実現できます。

1984 年

設立

86,200

従業員数

570 億米ドル

2025 会計年度の収益

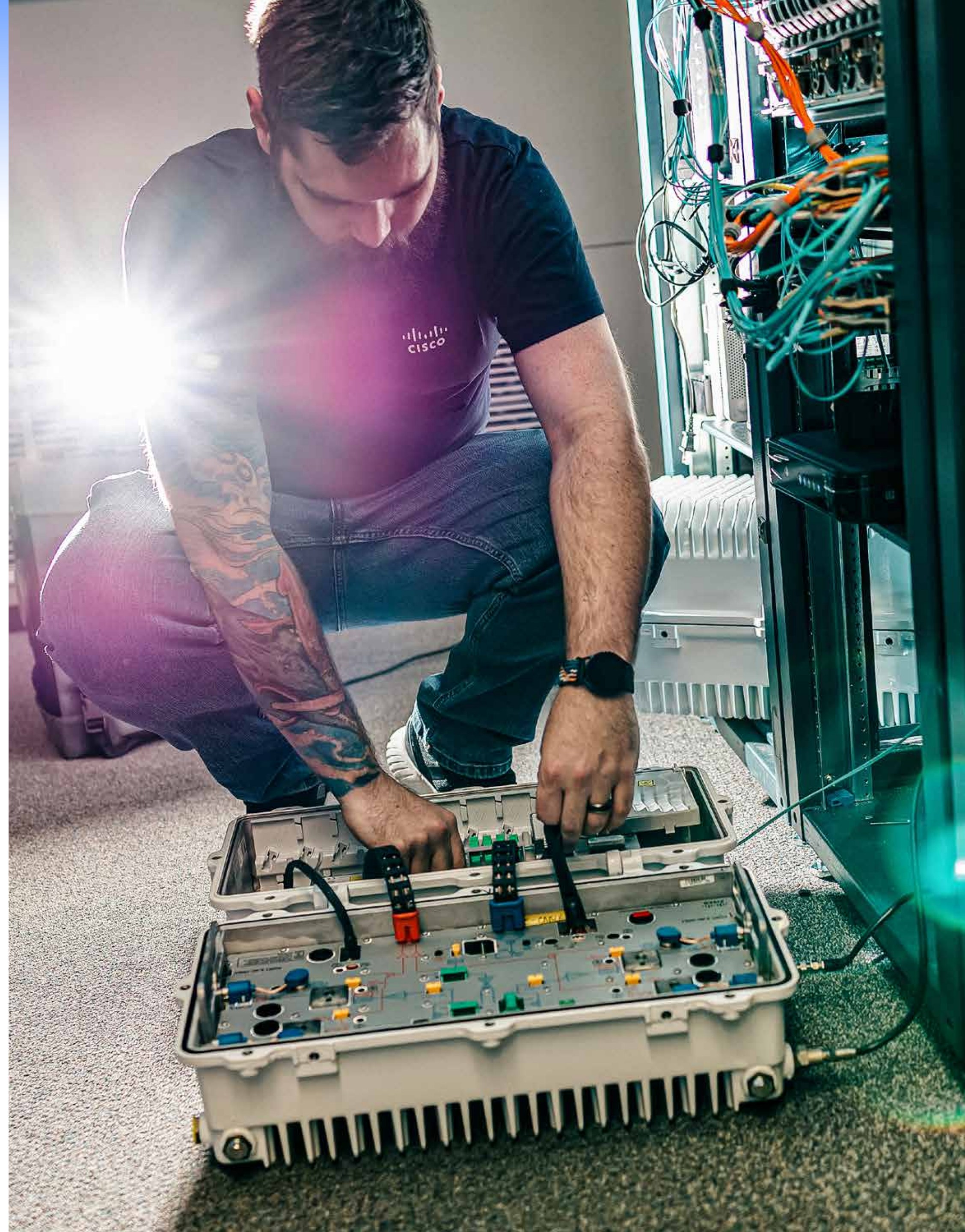
93

か国

このレポートについて

本レポートでは、「すべての人にインクルーシブな未来を実現する」という目標に向けた 2025 会計年度の Cisco の進捗状況を紹介していますが、シスコではこのレポートの他にもさまざまな進捗情報を公開しています。Cisco の [ESG レポートハブ](#) では、このレポートで取り上げたさまざまなトピックに関する詳細情報を提供しています。また専門家向けに会社方針 (ポリシー) の公開や追加の情報開示も行っています。本レポートでは、詳細情報を参照できる ESG レポート ハブの各ページへのリンクを適宜提供しています。

Cisco の 2025 会計年度は、2024 年 7 月 28 日から 2025 年 7 月 26 日まででした。特に断りのない限り、数値は会計年度時点のものです。



はじめに

このレポートについて

■ Chuck Robbins からのメッセージ

5年間の誰にとってもインクルーシブな未来の実現

中核にある目的

2025 会計年度のハイライト

目標と進捗状況

Cisco におけるパーパスレポート

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望

Chuck Robbins からのメッセージ

Cisco は、AI 時代の重要なインフラストラクチャと、つながり、保護され、インクルーシブな未来を実現するための信頼できる基盤を提供しています。

過去 1 年間で、技術的な変化のペースは、キャリアの中で目にしたことのないほど加速しました。AI は 1 世代に一度の変換を目の当たりにしています。AI が世界中の企業、コミュニティ、そして国々にもたらす可能性は無限です。ただし、これらの可能性を実現するには、イノベーションの加速と、まったく新しいレベルの信頼、セキュリティ、デジタル復元力が必要です。

この AI の時代において、Cisco のテクノロジーはこれまで以上に重要性を増しています。また、お客様やパートナー様が Cisco に寄せられている信頼は、かつてないほど重要になっています。現在、Cisco が提供しているイノベーションは、間違いなく将来の世界を形作ります。また、Cisco のテクノロジーを「すべての人のためにインクルーシブな未来を実現する」という Cisco のパーパスに合わせることで、Cisco の影響が大きくなると確信しています。Cisco のソリューションが変化をもたらす有意義な手段から、これを日々実感しています。

Cisco の Cisco Silicon One アーキテクチャと Nexus プラットフォームは、エネルギー効率の向上に貢献しながら AI ワークロードを可能にします。Cisco Hypershield や AI Defense のような Security ソリューションは、ネットワークの保護だけでなく、組織が信頼を築き、責任を持ってイノベーションを進め、デジタル復元力を実現できるよう支援します。Webex は世界中の教室と職場をつなぎ、Cisco のルータとスイッチングインフラストラクチャは病院と公的機関の業務を継続するのに役立っています。

また、強力なパートナーエコシステムを通じて、継続的な学習とスキルアップに注力することで、新たな機会を創出することに全力を尽くします。これは、Cisco が各国の構築を支援しているデジタルインフラストラクチャや、責任あるイノベーションを促進するために Cisco が進めている量子研究に反映されています。さらに、Webex が実施している AI スキルの向上（学校の教室から専門認定まで）、サービスを提供しているあらゆる地域での接続の拡大によって実現されています。

パーパスとイノベーションは善を促進する力になるという信念が Cisco の基盤です。この信念が現在につながっています。Cisco は今後も、AI 時代の重要なインフラストラクチャを提供し、よりつながりがあり、保護され、インクルーシブな未来を実現するための信頼できる基盤を構築することに注力し続けていきます。



Chuck Robbins
会長兼最高経営責任者



「現在 Cisco が提供しているイノベーションは、未来の世界を可能にします。そして、Cisco のテクノロジーを Cisco のパーパスに合わせることで確実に Cisco の影響が大きくなります。」



はじめに

このレポートについて

Chuck Robbins からのメッセージ

5年間の誰にとってもインクルーシブな未来の実現

中核にある目的

2025 会計年度のハイライト

目標と進捗状況

Cisco におけるパーパスレポート

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望



5年間の誰にとっても インクルーシブな未来の実現

パーパスは変わりませんが、私たちを取り巻く世界は変わります。

2020年、私たちは長年 Cisco を形作ってきました。「私たちのパーパスはすべての人のためにインクルーシブな未来を実現することです。」

野心的な声明として始まったこの取り組みは、今やビジネスの中核となり、影響力とイノベーションを世界中で推進する指針となっています。お客様、パートナー、従業員に支えられ、数百万人の人々にプラスの影響を与え、世界におけるテクノロジーの役割に対する Cisco の考え方を考えることができました。

Cisco は、Cisco のテクノロジーと従業員、幅広いネットワークを結集して、社会が直面する最大の課題に取り組んでいます。

パーパスに向けた次のステップ

現在、世界は変化しており、それに合わせてビジネスも変革しています。

- ・ AI の急激な成長により、古い問題が解決されると同時に新たな分断が発生しています。Cisco は、AI の時代にお客様とコミュニティをより適切につなぎ、それらを保護できるよう取り組んでいます。
- ・ スキルの寿命の半減は今後も縮小し、経済的インクルージョンには生涯学習が不可欠です。Cisco は、イノベーションを大規模に推進し、デジタルスキルのギャップを解消するために、Cisco の従業員を含め、世界中のコミュニティのスキルアップを図っています。
- ・ データとネットワークはますます複雑になり、その結果、脆弱も増大しています。Cisco は、Cisco Silicon One のような、拡張性とプログラム可能性を備えた、安全な設計のイノベーションを構築しています。
- ・ エネルギー効率は復元力（復元力）に不可欠になりつつあります。Cisco は、開発した製品から運用する建物に至るまで、ビジネスとインフラストラクチャ全体で効率性を重視しています。

Cisco はこの状況に対応するために、デジタルスキルの強化や危機への対応、責任ある AI から製品のユーザー補助まで、Cisco 独自の強みを活かして AI の時代に大きな変化をもたらす方法に焦点を当てています。

そのため、Cisco は「コア：コミュニティの復元力、Cisco の従業員、責任あるイノベーション、エネルギーと持続可能性」という更新済みのフレームワークで5年間のパーパスマイルストーンを掲げています。次のページでは、相互に関連する4つの柱でのCiscoの取り組みが、いかに大きな影響を世界中にもたらしているかをご覧ください。

テクノロジーは機会を閉じるものではなく、機会を開くものであると私たちは考えています。コミュニティを分断するのではなく、コミュニティを結び付ける必要があります。そして、それは一部の人に利益をもたらすのではなく、すべての人に機会を創出する必要があります。

Cisco のパーパスは、Cisco の存在と目的の中核にあります。共に、すべての人のためにインクルーシブな未来を実現し続けます。

中核にあるパーパス

CORE（すべての人にインクルーシブな未来を実現するというCiscoのパーパス）を分類し、Ciscoのインパクトについて紹介します。

はじめに

このレポートについて

Chuck Robbinsからのメッセージ

5年間の誰にとってもインクルーシブな未来の実現

■ 中核にある目的

2025 会計年度のハイライト

目標と進捗状況

Ciscoにおけるパーパスレポート

コミュニティの復元力

Ciscoの従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望



コミュニティの復元力

当社は、デジタル化への対応、危機対応、戦略的投資を通じて、コミュニティが変化に適応し、成功を収められるよう支援します。



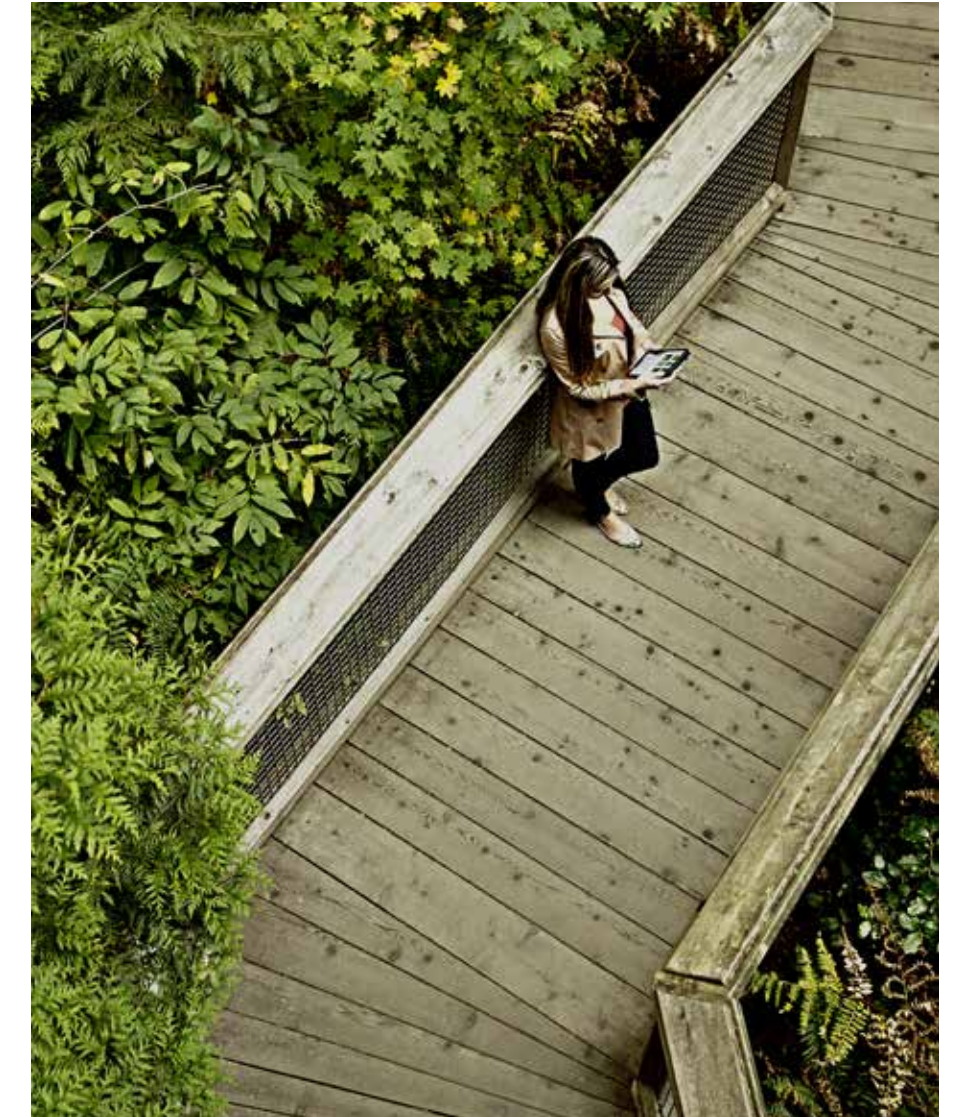
当社の従業員

当社の従業員はパーパスの原動力です。彼らは、学習、つながり、コラボレーションへの取り組みを通じて、Ciscoのビジネスと、受賞歴のあるCiscoの文化を促進しています。



責任あるイノベーション

当社は、AIの時代に人をつなぎ、保護します。Ciscoが構築するものとその構築方法においては、セキュリティ、プライバシー、信頼性、倫理を優先順位付けします。



エネルギー効率と持続可能性

当社の製品、ソリューション、運用を通じてエネルギー効率と復元力を促進し、Cisco、お客様、世界中のコミュニティのサステナビリティの推進に貢献しています。

2025 会計年度のハイライト

はじめに

このレポートについて

Chuck Robbins からのメッセージ

5年間の誰にとってもインクルーシブな未来の実現

中核にある目的

■ 2025 会計年度のハイライト

目標と進捗状況

Cisco におけるパーパスレポート

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望



Cisco Foundation とソーシャルインパクト投資を通じてプラスの影響を与えた

1 億 5,400 万

人の生活



1日あたり最大
8,860 億
のセキュリティイベントを Cisco Talos
で処理し、脅威を検出してお客様を保護



14
カ国で Cisco が
「働きがいのある会社」
のトップ 3 に選出



スコープ 1 および 2 の温室効果ガス
(GHG) 排出量削減目標を

90%

達成 (2019 会計年度基準)¹

Cisco Crisis Response
を通じた自然災害と人道危機への

31

の対応活動



10
年間にわたる Country Digital Acceleration
により、世界中でデジタル変換を推進



573,000

万時間以上。従業員
がボランティア活動
に使った時間



530 万
人 Cisco Networking
Academy の受講者

6 億 5,000 万米ドル

の Cisco と Cisco Foundation
よりの現金および現物で寄付



3
新しい指針となる原則：



素晴らしいこ
とを考える



目標を達成
するための戦略



しっかりした
成長の促進



100%
循環型設計の
原則を導入した
Cisco の新製品
と梱包の割合

¹ パーセントは、89.7% 削減から四捨五入されています。この四捨五入は表示のみを目的とし、基になるデータには影響を与えません。

² Cisco は、オンサイト更新、電力購入契約、エネルギー属性証明書などの契約上の取り決めなど、さまざまな方法でこのマイルストーンを達成しました。Cisco の再生可能エネルギー戦略については、[パーパスレポートハブ](#)をご覧ください。

³ この目標の範囲は、ハードウェア製品とその梱包に限定されます。対象外：単体の部品（シャーシ、ASIC、光学モジュールなど）、単体の基本的な製品アクセサリ（電源ケーブルやブラケットなど）、相手先ブランド製造会社の製品（Cisco が設計を行わない場合）、統合されていない買収先の製品と梱包。75% 以上のスコアを達成した製品と梱包の設計は、この目標にカウントされます。

はじめに

このレポートについて

Chuck Robbins からのメッセージ

5 年間の誰にとってもインクルーシブな未来の実現

中核にある目的

2025 会計年度のハイライト

■ 目標と進捗状況

Cisco におけるパーパスレポート

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望

目標と進捗状況

Cisco では、従業員の参画、環境への影響の軽減、「すべての人にインクルーシブな未来を実現する」というパーパス推進の進捗状況を、毎年報告している会社の数値目標に照らして評価しています。2025 年度の具体的な目標は次のとおりです。



コミュニティの復元力

2030 年度までに：Cisco Networking Academy を通じて今後 10 年間でさらに 2,500 万人にデジタルスキルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供する。 ¹	1,190 万人がトレーニングを受講
---	---------------------------

当社の従業員

<input checked="" type="checkbox"/> 2025 会計年度までに：80% の従業員がコミュニティ貢献活動に参加する（自分が強い関心を持っている活動への賛同、ボランティア活動、寄付、コミュニティにプラスの影響を与えるプログラムへの参加など、従業員の行動を測定して評価）。	4 年連続で 80% 超の従業員がコミュニティ貢献活動に参加
--	---------------------------------------

注：年度で記述されている目標の進捗状況は、いずれも会計年度末までに測定されたものです。

¹ この目標タイムラインは 2032 年度会計のから 2030 年度会計のに前倒して達成しています。

² 残りの 10% 排出量は大気中から同量を除去することで相殺。

³ Cisco は、会計の活動からの残存排出量を中和する 2025 年度の目標を達成し、自発的に炭素を除去する手段を購入しました。

⁴ パーセントは、89.7% 削減から四捨五入されています。この四捨五入は表示のみを目的とし、基になるデータには影響を与えません。

⁵ 2030 会計年度の目標について報告されたベースラインと進捗には、スコープ 3 カテゴリ 1 のサブセット（製造、コンポーネント、および倉庫のサプライヤーから購入した商品とサービス）、スコープ 3 カテゴリ 4 のサブセット（シスコが購入した航空輸送からの上流輸送および無休憩スペースの配布）、およびスコープ 3 カテゴリ 11 のすべて（販売した製品の使用）が含まれます。

⁶ 進捗状況は、Cisco が毎年販売する製品の数と種類に基づいて、前年比で変動するものと想定しています。

⁷ サプライヤーは、目標期間中の GHG 絶対排出量削減目標または目標期間中に絶対排出量の削減が実現する原単位削減目標を設定することが求められています。シスコはサプライヤーに対して、承認された科学的根拠のある方法に沿って目標を設定することを推奨しています。この目標の進捗状況は、毎年変動する可能性のあるCisco のサプライチェーン支出を用いて定量化されます。

⁸ 認定プロトコルにおける現在の標準的な定義によると、「廃棄物ゼロ」転換とは、無害な固形廃棄物について、全体の 90% 以上を埋め立て、焼却、環境から転換すること（焼却からの転換とは廃棄物発電を行うこと）とされています。転換方法には削減、再利用、リサイクル、または堆肥化処理が含まれます。

⁹ この目標の範囲は、ハードウェア製品とその梱包に限定されます。対象外：単体の部品（シャーシ、ASIC、光学モジュールなど）、単体の基本的な製品アクセサリ（電源ケーブルやブラケットなど）、相手先ブランド製造会社（OEM）の製品（Cisco が設計を行わない場合）、統合されていない買収先の製品と梱包。75% 以上のスコアを達成した製品と梱包の設計は、この目標にカウントされます。

¹⁰ 梱包効率率は、容積重量を使用して製品サイズを梱包と比較することで測定しています。容積重量は、容積と標準容積係数を使用して計算した梱包重量です。この方法では、正規化した容積重量の基準値と本年度の差に基づいて梱包効率の指標が算出されます。この目標は、再設計する必要がある大量梱包に適用されます。

¹¹ この目標が適用されないプラスチックもあります。汎用部品（プラスチック製のネジ、ファン、ケーブルなど）や、相手先ブランド設計製造業者が設計、製造した製品に含まれているプラスチックです。50% の目標は達成できませんでした。チームはイノベーションを推進し、サプライチェーン全体でコラボレーションを深めたので、再生プラスチックの使用が増加しました。

エネルギーと持続可能性

ネットゼロの目標	
2040 年度までに：スコープ 1、2、3 の絶対排出量を 90% 削減して GHG 排出量ネットゼロをバリューチェーン全体で達成する（2019 会計年度基準）。 ²	
以下に示す短期目標で進捗状況を報告しています。	
<input checked="" type="checkbox"/> 2025 会計年度までに：スコープ 1 とスコープ 2 の絶対排出量を 90% 削減する（2019 会計年度基準）。 ³	90% 削減⁴
<input checked="" type="checkbox"/> 2030 会計年度までに：購入した製品とサービス、輸送および配送（上流）、販売した製品の使用によって排出されるスコープ 3 の絶対排出量を 30% 削減する（2019 会計年度基準）。 ⁵	35% 削減⁶

サプライチェーン

<input checked="" type="checkbox"/> 2025 会計年度までに：Cisco の部品、製造、ロジスティクスサプライヤーの 80%（調達額の割合）が GHG 絶対排出量の削減目標を公式に設定する。 ⁷	88% が目標を設定
<input checked="" type="checkbox"/> 2025 会計年度までに：Cisco の部品と製造のサプライヤーの 70%（調達額の割合）が、1 つ以上の拠点で廃棄物ゼロ化を達成する。 ⁸	76%（調達額の割合）が、少なくとも 1 つの認定施設で達成

循環型設計、製品、梱包

<input checked="" type="checkbox"/> 2025 会計年度までに：Cisco の新製品と梱包の 100% に循環型設計の原則を導入する。 ⁹ 新規：2026 会計年度までに、新製品と梱包の 100% に循環型設計の原則を導入する。 ⁹	100% が循環型設計の基準に適合
<input checked="" type="checkbox"/> 2025 会計年度までに：Cisco 製品の梱包に使用しているフォーム材を重量基準で 75% 削減する（2019 会計年度基準）。	78% 削減
<input checked="" type="checkbox"/> 2025 会計年度までに：製品の梱包効率を 50% 高める（2019 会計年度基準）。 ¹⁰	73% の累積改善率を達成
<input checked="" type="checkbox"/> 2025 会計年度までに：Cisco 製品に使用されるプラスチックの 50%（重量基準）をリサイクル素材にする。 ¹¹	45% のリサイクル素材

はじめに

このレポートについて

Chuck Robbins からのメッセージ

5年間の誰にとってもインクルーシブな未来の実現

中核にある目的

2025 会計年度のハイライト

目標と進捗状況

■ Cisco におけるパーパスレポート

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望



Cisco におけるパーパスレポート

Cisco の ESG プログラムと情報開示は、株主、お客様、パートナー、サプライヤ、従業員、グローバルコミュニティ、環境などのステークホルダーに価値をもたらします。

パーパスガバナンスと管理

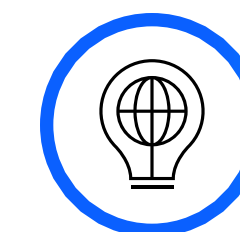
Cisco の「人材活用/ポリシー/パーパス」組織は、パーパスへの全社的な取り組みを推進しています。この組織内の専門チームは関係者と連携し、自発的な報告に向けたさまざまな評価と管理者報告活動を主導します。責任あるビジネス運営委員会は、部門横断的なシニアリーダーで構成され、Cisco のパーパスに関する取り組みの監視と管理を行い、これらの事項について Cisco のエグゼクティブリーダーシップチーム (ELT)、および必要に応じて取締役会に報告します。Cisco の報告は、次のようなグローバルな基準や枠組みに沿って作成されています。

- ・ [Global Reporting Initiative \(GRI\)](#)
- ・ [サステナビリティ会計基準審議会 \(SASB\)](#)
- ・ [気象関連財務情報開示タスクフォース](#)
- ・ [CDP](#)
- ・ [国連 \(UN\) の持続可能な開発目標](#)

賞とランキング

Cisco は ESG の評価とランキングへの参加を通じて成果を確認し、自社の強みと改善点を把握しています。2025 会計年度の例を挙げます。

- ・ 2022 年気候変動 A リスト
- ・ EcoVadis Goldメダル
- ・ Institute of Public and Environmental Affairs Supply Chain Corporate Information Transparency Index - IT Industry で 3 位を獲得
- ・ Great Place To Work* で、働きがいのある会社 100 社で第 3 位を獲得
- ・ Dow Jones Sustainability Index 世界指標と北米指標



中核におけるより多くの成果

詳細については、[Cisco のパーパスレポート](#)をご覧ください。

コミュニティの復元力

2025 会計年度のハイライト

154 万

Cisco Foundation とソーシャルインパクトの投資を通じて影響を受けた人々の生活

530 万

人 Cisco Networking Academy の受講者

31

Cisco Crisis Response で対応した自然災害と人道危機



はじめに

コミュニティの復元力

シスコの危機対応

Cisco Foundation とソーシャルインパクトへの投資

スポットライト：インドで 5,000 万人の生活に貢献

Country Digital Acceleration

学習能力とデジタルスキル

コミュニティ支援

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望

Cisco は、デジタル化への対応、危機対応、戦略的投資を通じて、コミュニティが変化に適応し、成功を収められるよう支援します。

Cisco では、復元力とは、中断を成長とイノベーションに変える能力であると考えています。危機への対応、AI スキルの構築、非営利団体への投資などを通じて、Cisco は未来に向けて人と場所を強固にすることを目指しています。

デジタル格差がなくなり、自然災害が頻繁に発生する今、Cisco の復元力への取り組みがこれまでになく急務です。Cisco は、イノベーションとインクルージョン、ソーシャルインパクトとスキル開発、テクノロジーと信頼を組み合わせ、世界中のコミュニティに永続的な影響をもたらすことを目指しています。



はじめに

コミュニティの復元力

■ シスコの危機対応

Cisco Foundation とソーシャルインパクトへの投資

スポットライト：インドで 5,000 万人の生活に貢献

Country Digital Acceleration

学習能力とデジタルスキル

コミュニティ支援

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望



Cisco の危機対応

Cisco は、民間部門における人道的対応の長年のリーダーであることを誇りに思っています。

猛烈な勢いで停電が発生し、山火事でインフラストラクチャが混乱し、紛争がコミュニティに変革をもたらした後、すぐに1つのことがわかります。それは、つながりが攻撃者ではないということです。そうですそこで Cisco は、テクノロジープロバイダーとしてではなく、再生と復元力における信頼できるパートナーとして活躍します。

Cisco Crisis Response (CCR) は、Cisco の人材、テクノロジー、資金力、戦略的パートナーシップを活用して、危機の影響を受けたコミュニティを安全につなぐための手段として、2005 年のハリケーン・カティリン期間中に初めて導入されました。Cisco は、事後対応だけでなく、長期的な復旧と再構築の取り組みも支援します。Cisco の影響は 4 つの分野で表れています。

- ・ **インシデント対応**： 危機時に重要なサービスを実現するための資金面での支援、テクノロジー、専門知識の提供
- ・ **テクノロジーソリューション**： 助成金、ローン、テクニカルサポートを利用して Cisco 製品を提供する
- ・ **戦略的パートナーシップ**： 非政府組織 (NGO)、政府、政府間組織と協力してインパクトを最大化
- ・ **能力開発**： 助成金、プロボナスソリューション、ボランティアトレーニングを通じて非営利団体パートナーに投資

2025 会計年度のハイライト¹

31

の自然災害と人道危機への取り組み

110 万米ドル

を従業員の寄付とマッチングギフトを通じて災害キャンペーンに支援

980 万米ドル

の助成金

900 人以上

の CCR ボランティア

410 万米ドル

相当の製品を寄贈

60 以上

のソリューション コンサルティング対応業務

¹ CCR への助成金と製品の寄付の一部は、[Cisco Foundation](#)と [Social Impact Investments](#) によって提供されています。

Cisco Foundation とソーシャルインパクトへの投資

スポットライト：インドで 5,000 万人の生活に貢献

Country Digital Acceleration

学習能力とデジタルスキル

コミュニティ支援

世界各地での危機への対応

ディザスタリカバリからホームレス防止まで、CCR がグローバルなコミュニティの復元力を促進している方法の一部をご紹介します。

ノースカロライナ州西部での接続の促進

2024 年 9 月に Hurricane Helper がランサムウェアを開発しました。その後、米国南東部の多くのコミュニティは、電力、水道、携帯電話、インターネットの利用に苦労していました。

CCR は緊急対応要員と連携して迅速に対応し、病院から消防部門まで 11 の組織に接続を提供しました。現場では、CCR のボランティアが 500 時間以上貢献し、7,000 マイル (7,000 マイル以上) を記録し、重要な機器とサービスを提供しました。さらに、CCR は、80 万米ドル以上の現金寄付 (助成金とマッチングギフト提供)、製品の寄付 140 万米ドルを提供しました。¹

スペインで洪水の支援を提供

2024 年 10 月にスペインの南部と東部で壊滅的な洪水が発生しました。これを受けて、CCR は Cisco Mesh Response Kits (ファイアウォールとサイバーセキュリティ機能が組み込まれた強力な Wi-Fi ソリューション) をスペイン軍の緊急対応部隊に展開しました。

その機器によって 7 つの拠点間で安全な接続が可能になり、救援要員と避難民の連絡が可能になりました。Cisco は、スペインの Red Cross と World Central キッチンに貢献するマッチングギフトキャンペーンも開始しました。

グローバル難民対応の支援

2015 年以降、CCR は国連難民高委員会 (UNHCR) と連携して、19 カ国の難民と対応組織に接続を提供してきました。2025 年度会計のには、UNHCR の Refugee Emergency Telecommunications Sector に 100 万米ドルの製品を寄付しました。さらに、Connectivity for Refugees イニシアチブへの助成金を提供しました。このプログラムは、2030 年までに 2,000 万人の難民をつなぎます。

また、サハラ以南のアフリカで 6 件の UNHCR 接続プロジェクトを支援しました。エチオピアの難民キャンプで 6 万人以上に Wi-Fi を提供するなどでした。さらに、[スタンバイパートナーシップ](#)を通じて、世界中の難民コミュニティに機器と専門知識を提供しています。

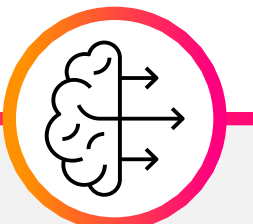


パナマでサテライト端末を組み立てている CCR と [Emergency.lu](#) の 2 人のメンバーの写真

ホームレス問題に取り組み、プログラムを拡大

2025 会計年度のには、「Destination: Home's [Right at Home](#)」イニシアチブを通じてシリコンバレーでのホームレス防止への取り組みを拡大しました。ホームレスの人々に、経済的援助、法律上の支援、その他の重要なサービスを提供しています。接続先：Home と地元パートナー、ノースカロライナ州アッシュビルでの計画イニシアチブを支援アトランタ (ジョージア州) そしてテキサス州オースティンにあります

また、Cisco は、Cisco が資金を提供したデジタルプラットフォーム [MyConnectSV の拡張](#) を支援し、ホームレスの人がリソースへのアクセスを改善できるようにしています。



すべて AI に対応

Cisco は、CCR のミッションと技術の提供を通じて、AI/機械学習 (ML) 製品の統合を活用しています。導入したネットワークの安定性を向上させる AI を活用した無線周波数調整、Cisco Meraki AI Assistant を使用した接続のトラブルシューティング、Webex AI による音質の向上。これらのソリューションによって対応パートナーが強化され、CCR は最も緊急なニーズに集中できるようになりました。

¹ CCR への助成金と製品の寄付の一部は、[Cisco Foundation](#)と [Social Impact Investments](#) によって提供されています。



Cisco Foundation パートナー、Bridges to Prosperity

Cisco Foundation とソーシャルインパクトへの投資

Cisco は、よりつながりがあり、復元力があり、繁栄している世界を創造するために、人々とコミュニティに投資しています。

Cisco は、Cisco Foundation と Cisco のソーシャル インパクト投資 (SII) を通じて、エネルギーの節約から生活の節約に至るまで、大胆かつ革新的な方法でテクノロジーを活用している組織を支援しています。Catalyst、初期段階のシード資金、戦略的ガイダンス、テクノロジーへの寄付を組み合わせることで、ローカルとグローバルの両方に影響を与えるソリューションの育成、検証、拡大を支援しています。2025 年度も会計の、有望な結果と影響を及ぼしている革新的な AI ソリューションへの投資を継続しました。

Cisco Foundation と Cisco の企業 SII は、危機対応、教育、経済力向上、気候変動に対する復元力の 4 つの主要分野に重点を置いています。¹

2025 会計年度のハイライト

2,000 万米ドル

100 を超える国で活動する 100 を超える非営利パートナーに助成金を提供

40%

ソリューションの全体的な規模 (100 万人以上)

4,200 万米ドル

追加の資金を Cisco の投資で得た資金

54%

最初の運用の国を超えて複製されたソリューションの割合

154 万

プラスの影響を受ける人

1,200 万米ドル

非営利パートナーにテクノロジーを寄付



世界中の 40 のコミュニティを支援

昨年、40 周年を迎えた Cisco は、新たなグローバルな目標を掲げました。今後 10 年間で Cisco は世界 40 のコミュニティと関わり、同コミュニティに投資し、

Cisco の戦略は、Cisco のテクノロジー、寄付、危機対応などを通じて貢献を最大化することに重点を置いています。ノースカロライナ州西部はハリケーン・ヘレンの長期的な影響を今でも実感しており、多くの Cisco 従業員が在籍していますが、c コミュニティの拠点に選ばれたのは妥当だと感じました。

2025 会計年度には、コミュニティの活性化に貢献する現地の 2 つの非営利団体に 600 万米ドルを拠出しました。Asheville 地域住宅修理連合を通じて、私たちは 110 人の低所得の住宅所有者の修理を支援しています。そして、Chief Cares と連携して、家を失った、あるいは住宅に関する重大な問題に直面していた 100 家族に新しい住居を建設する支援を行っており、2025 年 7 月の時点で 40 件の住宅が建設されています。Cisco の従業員はこの取り組みの原動力となっており、実践的なボランティア活動を通じて Ashewarding Area Habitat for Humanity などのパートナーに参加しています。



中核におけるより多くの成果

[40 のコミュニティ](#)と Cisco Foundation の戦略と影響について、[Cisco Foundation Impact Report](#) をご確認ください。

¹ 気候変動に対する復元力への資金は、[Cisco Foundation の気候変動対策への 1 億米ドルの取り組み](#)を通じて提供されています。

はじめに

コミュニティの復元力

シスコの危機対応

Cisco Foundation とソーシャルインパクトへの投資

スポットライト：インドで 5,000 万人の生活に貢献

Country Digital Acceleration

学習能力とデジタルスキル

コミュニティ支援

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望

Cisco のテクノロジーへの寄付を通じた影響とネットワーク接続の拡大

Cisco では、テクノロジーが変換を促進することを理解しています。

そのため、助成金やアドバイザリサポートと合わせて、Cisco のテクノロジーを Cisco Foundation と Social Impact Investments のパートナーに寄付しています。これにより、より安全な接続、重要なサービスの提供、データ情報に基づいた意思決定、運用効率の向上が実現します。

それにより、世界中のより多くの人々とコミュニティに大きく影響を与えます。



セキュアな接続の推進

Cisco のスイートサイバーセキュリティソリューション スイートを通じて、非営利団体が資産をより適切に保護できるよう支援しています。たとえば 2025 会計年度には、Cisco Secure Endpoint と Cisco Duo テクノロジーを寄贈したことで、[Bridges to Prosperity](#) のシステムを保護し、セキュリティを確保することができました。これにより、Meraki のチームは、サハラ以南のアフリカをはじめとする地域での接続イニシアチブに注力できるようになりました。

さらに、Cisco の資金は、Bridges to Prosperity が [WaterNet](#) を立ち上げるのに役立っています。WaterNet は、地域の川やストリームをマッピングすることで、[農村コミュニティを医療や教育に結びつける](#)のに役立つデータセットです。開始以来、WaterNet は世界の知性な水道源を 3 倍に増やしました。

IT インフラストラクチャの近代化

多くの非営利団体が旧式の IT システムに制約されています。Cisco はテクノロジー助成金を通じ、信頼性の高い高いネットワーキングと接続のソリューションを提供しており、お客様が中断することなく重要なサービスを提供できるようにしています。

[United Food Bank Arizona](#) は直近のネットワーク機器の一部を、Cisco Meraki のファイアウォール、スイッチ、ワイヤレスアクセスポイントに交換した例です。一覧管理からボランティアの調整まで、新しいインフラストラクチャは運用を最大限に活用し、必要な人々に迅速に食料を届けることができます。

大規模なインサイトの自動化

Cisco グループである Splunk は、非営利団体がミッション駆動型の取り組みを拡大できるようテクノロジー助成金を提供し、組織が大規模なデータを取り込んで分析し、それに基づいて行動するためのツールを提供しています。助成金を受けた [Ersilia](#) 社は、グローバルサウス感染症の根絶に取り組んでいる研究者にデータサイエンスツールへのアクセスを拡大しました。[Splunk Global Impact 寄付プログラム](#)を通じて、Splunk Enterprise の完全なライセンス、トレーニング、サポートを取得しました。これにより、手動のデータプロセスを自動化し、AI 予測を実行するモデルの数を倍増させ、年間 700 時間以上の作業を削減しました。

コミュニティの復元力への注目

インドの5,000万人の生活に影響

インドは、約10億人のインターネットユーザーと、世界第3位のデジタル経済を擁しています。インドは、グローバルな接続ハブであり、インクルーシブな成長を実現する強力な原動力です。

インドは2013年に、企業の社会的責任に関する取り組みへの投資を義務付ける法律を施行しました。Ciscoは、単に義務を満たすだけでなく、それをさらに上回った。2018年には、インドの5,000万人の生活にプラスの影響を与えるという目標を設定した目標を設定したのです。

2025会計年度にはそれを上回りました。

そのために、政府の優先事項に合わせて、革新的なテクノロジーと協力的なパートナーシップを組み合わせました。[インド助成金プログラム](#)を活用して、教育や経済力向上などの重要なニーズにテクノロジーを活用して対処している現地の非営利団体を支援しました。また、サイバーセキュリティから事業運営に関するパートナーへの指導に至るまで、Ciscoの従業員も重要な役割を果たしました。

Ciscoとのコラボレーションによって実現したイニシアチブをいくつか紹介します。

ポリシーを通じた教育の変革

Ciscoと[Indus Action](#)は、テクノロジーを活用したソリューションを通じて教育を変革します。Ciscoは、6~14歳の子供たちの教育を基本的権利とするインドの[教育権権利保護法](#)への支援に基づき、Indus Actionがテクノロジープラットフォームの開発を支援しました。教育機関の入場プロセスを合理化目的で使用されています。Indus Actionとのパートナーシップの継続により、意思決定とポリシー実行が効率化され、500,000人にプラスの影響を与えました。

サイバーセキュリティのスキルアップ

Ciscoと[NIIT Foundation](#)は、Cyber Surakshaプロジェクトを通じて教育とエンパワメントを推進しています。2022年から現在まで、このプロジェクトのおかげで100万人以上（そのうち40%が女性）がサイバーセキュリティのスキルを身に付け、6,000人以上の参加者がセキュリティの高いサイバーセキュリティの職務に就いています。

新しいキャリアパスの創造

Future Right Skillsネットワークは、Cisco、Accenture、SAP Labs、JP Morganによる共同の取り組みであり、[Quote Alliance](#)が円滑に進めます。これまでに、30万人以上の学生がキャリアスキルを習得し、26,000人以上がフルタイムの仕事に就き、1,500人以上のインストラクターがサポートを受けました。



「政府の優先事項と足並みを揃え、コラボレーションを促進することで、Ciscoはイノベーションと能力開発を支援しています。この包括的なアプローチによって効果が高まり、資源がよりインクルーシブで繁栄する社会のための持続的な変化を生み出すことができます」

- Harish Krishnan、Cisco インド、南アジア、マネージングディレクター兼最高ポリシー責任者



インドの助成金プログラムパートナー、Tata Trusts and Center for Microfinance

インド助成金を通じた起業家精神の促進

インドでは、マイクロ、中小企業、中堅・中小企業が経済の重要な構成要素であり、国内総生産（GDP）に約30%の貢献を行っています。政府にとって、こうした企業のデジタル変換をサポートすることは、国家的な優先順位です。

Ciscoは、インド助成金を通じ、これらのナノおよびマイクロ企業者の多くに向けた大規模なイノベーションとコラボレーションの実現を支援しています。Ciscoの助成金はすべての人に機会を提供することに重点を置いており、取り組みの60%以上が女性が率いる企業を支援しています。

[Learning Links Foundation](#)、[Center for Microfinance](#)、[Jagriti](#)、[Bharatiya Yuva Shakti Trust](#)をはじめとする多くのパートナー様の取り組みは、デジタルソリューション、食品ベンチャー、AI起業家、製造サービス向けなど、多岐にわたります。これらの取り組みは、5,000万人の実行目標を達成するために不可欠でした。

シスコの危機対応

Cisco Foundation とソーシャルインパクトへの投資

スポットライト：インドで 5,000 万人の生活に貢献

■ **Country Digital Acceleration**

学習能力とデジタルスキル

コミュニティ支援

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望

Country Digital Acceleration

Cisco は今年、イノベーション、パートナーシップ、インパクト 10 周年を迎えました。

サウジアラビアでの AI の実現からイタリアでの自動運転車のイノベーションの推進まで、Cisco の Country Digital Acceleration (CDA) プログラムは、世界中でデジタル変換を推進するための Cisco の戦略的コミットメントを示すものです。

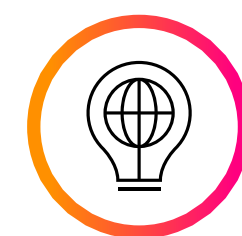
CDA は、政府、産業界、学界と連携して、国と地域の優先事項に対処し、イノベーションを促進し、デジタル経済へのアクセスを拡大する、現実的かつ拡張可能なソリューションを構築しています。

1,700 以上

進行中のプロジェクトと完了したプロジェクト

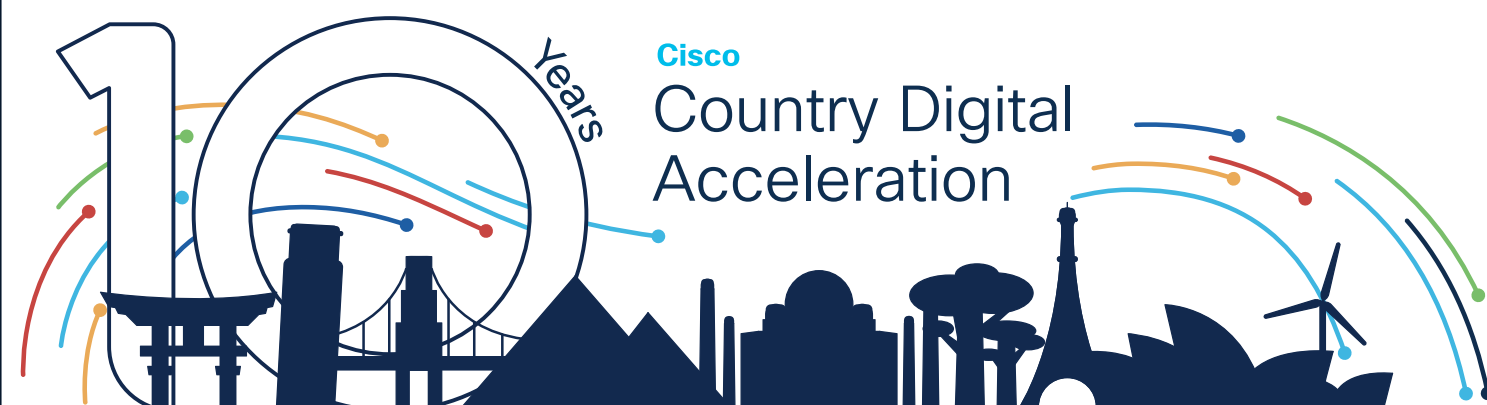
56

か国



中核におけるより多くの成果

[インタラクティブマップ](#)をご覧ください。業界および技術重視ごとに世界中の CDA プロジェクトの詳細をご確認ください。



自動運転車のプロトタイプ、Cisco および Pima Community College との共同開発

10 年間のグローバルな影響

Cisco の CDA プログラムはテクノロジーだけでなく、国家的なデジタルの進歩への道筋を提供します。次に 2025 会計年度の成果をいくつか紹介します。

カナダ

10 年目となる Cisco の [トロントイノベーションセンター](#) は、CDA プログラムの戦略的投資とパートナーシップを活用しています。Cisco Spaces テクノロジーを使用したハイブリッドワークスタジオ、新たに開始された医療向けショーケースなどを備えたこのセンターでは、お客様とパートナーが安全に実験し、コラボレーションし、実環境に効果をもたらすことができます。この投資は Cisco が CA 全土で行っているイノベーションへの投資の一部です。

イタリア

2023 年以降、Cisco と Polycnico di Milano は提携して、[自動運転車](#)のイノベーションを推進しています。古くからの自動車メーカーである Mille Migcia 社に Maserat 社が参加した事例がその例です。このコラボレーション、自動運転技術は完全な電気自動車に拡張され、長距離および高速環境における新たな課題に対処されました。そこでの学びを活かして、2025 会計年度に Sharing for Careing のテクノロジーパートナーに指定されました。このプログラムは、小さなコミュニティの人々や移動能力が限られている人に、安全でアクセス可能な交通手段を自律的に提供するプログラムです。

インド

インドのデジタル化の取り組みを支援するために、CDA は、移動型モバイルエクスペリエンスセンターである [Cisco on Wheels](#) を立ち上げました。このセンターは、Cisco のテクノロジーソリューションを企業に直接提供します。これまでに、Cisco on Wheel は、プネーからバダ皆さんまでインドの 18 都市を巡って、Cisco Meraki のセキュアなネットワークングソリューション、Webex コラボレーションツールなどの実践的なデモンストレーションとトレーニングを実施しました。Cisco は、このプログラムを通じて、組織のデジタル変換の推進と市場リーチの拡大を支援しています。

サウジアラビア

CDA は 2016 年から英国を支援し、医療、教育、政府にまたがる大きな影響を与えるプロジェクトを通じてデジタル化とイノベーションを推進しました。Cisco は 2025 会計年度に、[サウジアラビアの HUMAN AI 企業とのパートナーシップ](#) を発表しました。英国の AI インフラストラクチャの構築は、世界で最もオープンで拡張性があり、復元力に優れた、コスト効率の高い AI エコエコシステムの構築を支援することを目指しています。

はじめに

コミュニティの復元力

シスコの危機対応

Cisco Foundation とソーシャルインパクトへの投資

スポットライト：インドで 5,000 万人の生活に貢献

Country Digital Acceleration

■ 学習能力とデジタルスキル

コミュニティ支援

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望

学習能力とデジタルスキル

Cisco は、教育こそが最終的なイコライザーであり、学習者がデジタル時代でキャリアを築くことができると考えています。

World Economic Forum の『[Future of Jobs Report](#)』によると、今日のグローバル戦力の 50% が、競争力を保つためにスキルアップまたは再教育を必要としています。そうした期待に応えられないと、2030 年までに世界の GDP が最大 15 兆米ドルが失われるおそれがあります。

この課題に対応するために、Cisco のグローバルな学習とデジタルスキルのポートフォリオは、人材パイプライン全体で機能し、グローバルなコミュニティを強化しながら、個々の機会を生み出します。Cisco は、世界で最も長い歴史を持つ企業教育エコシステムの 1 つとして、今日の従業員が将来に必要なデジタルスキルを習得できるよう支援しています。

アフリカ系アメリカ人プロジェクトは、Cisco Networking Academyとのパートナーシップを通じてタンザニアの学生にリーチ



2025 会計年度の、[Cisco との学び](#)を発表しました。これは、Cisco の学習プログラムを統合し、キャリアのあらゆる段階でスキルアップを支援するものです。

- ・ **Cisco Networking Academy** : キャリア早期の人材開発に焦点を当てた、職務に役立つ IT スキルを提供するプログラム
- ・ **Cisco 認定** : 現代のワークフォースの形成に役立つ認定プログラム
- ・ **Cisco U.** : プロフェッショナルにとって回数変更可能デジタルエクスペリエンスを提供する、パーソナライズされたテクノロジー学習
- ・ **Cisco Learning Network** : 学習者のグローバルコミュニティ（ネットワーク、コラボレーション、メンターシップ、認定の準備）

Cisco の 2025 会計年度のハイライトで学ぶ

560 万

人のトレーニングを受けた個人

704,000

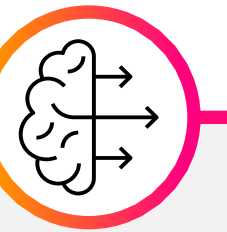
アクティブな認定

170 万人

[Cisco ラーニングネットワーク](#)のメンバー

5 億 1,900 万米ドル

現物寄付



すべて AI に対応

Cisco Networking Academyのインストラクターを対象とした 2025 会計年度の調査では、87% が AI と ML を教えることの重要性を認識していましたが、十分に準備されていると感じたのは 10% のみでした。

この問題に対処するために、Cisco では、需要の多い無料の AI トレーニングにアクセスできるようにしました。たとえば、Cisco Networking Academy の [最新 AI の概要](#) と、Cisco U. の [網エンジニアとしての AI と LLM の理解](#) などで。

My Knowledge Check のような既存の AI 機能に加えて、よりインタラクティブでパーソナライズされたコースを作成できるよう革新を進めています。 [Data Science Essentials with Python](#) の新しいコースには、個人講師として機能するコンテキスト認識型の AI アシスタントが組み込まれています。

シスコの危機対応

Cisco Foundation とソーシャルインパクトへの投資

スポットライト：インドで 5,000 万人の生活に貢献

Country Digital Acceleration

コミュニティ支援

世界中の Cisco Networking Academy

Cisco Networking Academy、対面とオンラインのテクノロジーコースを通じて、世界中の学習者、教育者、コミュニティを支援しています。このコースはすべて無料で実施されます。

Cisco は、政府、学校、非営利団体と提携して、従業員のニーズや変換のニーズに合わせてデジタルスキルのトレーニングを実施しています。

今年は、さまざまな場所でより多くの学習者にリーチすることに重点を置きました。この学習プラットフォームは現在、195 か国で日本語、韓国語、中国語（簡体字）の 8 つの言語で利用できます。また、デジタルユーザー補助にも重点を置き、Teach Access と提携して、教育者向けの [新しい教育ユーザー補助リソース](#) を作成しました。

オーストラリア

医療分野におけるデジタルスキルの不足に対処するため、ロイヤル・メルボルン工科大学は Cisco Networking Academy および Grampian Health と連携して、デジタル医療の基盤と新しい AI テクノロジーに焦点を当てた 5 つの学習モジュールを立ち上げました。パイロットで効果を上げたことを受け、ビクトリア州政府は、ビクトリア州全体で重要な人材不足分野におけるイニシアチブを拡大するために、[500 万米ドルを追加寄付することを約束しました](#)。

ブラジル

Cisco Networking Academy は 2025 会計年度の [ブラジルで重要なマイルストーン](#) を迎え、100 万人を超える学習者がデジタルスキルを活用できるようにしました。このインパクトは、サンパウロのような都市センターから Amazon の遠隔地の村に至るまで、全国 600 を超える機関と 1,400 人を超えるインストラクターとのパートナーシップによって実現しました。

ドイツ

ドイツでは、候補者の不足が原因で、実際に [14 万件の IT 関連の仕事](#) が埋まっていると推定されています。Cisco Networking Academy は、ReDI School of Digital Integration と提携して、有意義な人材の確保に努め、2025 会計年度の 900 人を超える学習者が学習しました。さらに、ドイツにおける Cisco Networking Academy における広範なアウトリーチを通じて、77,000 人を超える学生と 400 の Cisco Networking Academy を支援しました。

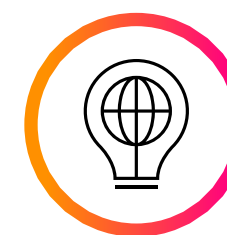


Splunk で将来のサイバーセキュリティリーダーを育成

[Splunk Academy Alliance](#) は、今日から始まる将来のサイバーセキュリティリーダーを育成しています。このプログラムを通じて、大学生、教員、IT スタッフは、無料の Splunk トレーニングと業界で認められた認定を取得し、IT およびデータ分野でのキャリアへのキャリアの形成プログラムを提供します。

キャリアの機会が進化するにつれて、Splunk Academy Alliance プログラムも進化しています。2025 会計年度には、サイバーセキュリティの 2 つの分野（インシデントの検出と対応、自動化）でスキルに対するニーズが高まっていることを認識し、Splunk は高等教育の内容を拡大して、Splunk Enterprise Security と Splunk SOAR（Security、オーケストレーション、自動化、対応）へのアクセスも可能にしました。

この 1 年間で総登録者数が 31,000 人を超え、トレーニングの受講者が 44 か国で 16,000 人を超えました。そうした分野をリードするのがネバダ大学ラスベガスの革新的なプログラムです。ルイジアナ州立大学やカリフォルニア州ポリテクニカル州立大学などですいずれも学界とアプリケーションが融合して何が実現できるかを示す良い例です。



中核におけるより多くの成果

Cisco のホワイトペーパー [『未来の ICT ワークフォースの教育』](#) で、生成系 AI が仕事にどのような影響を与えているのか、また Cisco Networking Academy が未来のワークフォースをどのように支えているかをご確認ください。



はじめに

コミュニティの復元力

- シスコの危機対応
- Cisco Foundation とソーシャルインパクトへの投資
- スポットライト：インドで 5,000 万人の生活に貢献
- Country Digital Acceleration
- 学習能力とデジタルスキル
- コミュニティ支援

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望

Cisco Networking Academy の目標

1997 年以来、世界中の 2,800 万人を超える学習者が、Cisco Networking Academy の高品質なトレーニングプラットフォームと信頼できるパートナーシップを活用しています。しかし、やるべきことはたくさんあります。AI の時代において、今ほど必要不可欠なものです。

私たちは 2023 会計年度のに、2032 会計年度のまでにさらに 2,500 万人を追加するという 10 年間の目標を設定しました。とはいえ、喫緊のニーズと今も続く Cisco の勢いを踏まえれば、Cisco としては迅速な対応が可能であることはわかっています。[世界経済フォーラムの「スキル教育革命」](#)を支援し、Cisco は会計のの目標より 2 年前倒して 2,500 万人の学習者を追加できるという目標を掲げています。

	進行中	目標達成
グローバル	1,190 万人がトレーニングを受講	
2030 年度までにさらに 2,500 万人にデジタルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供。 ¹		
アメリカ大陸		
2025 会計年度までに米国の 20 万人を対象にサイバーセキュリティスキルのトレーニングを実施する。	205,000 人	
2030 年度までに中南米の 620 万人にデジタルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供する。	290 万人	
ブラジルの Networking Academy Support Centers (SENAC) と提携して、2027 年度までに 10 万人にデジタルやサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供する。	55,000 人	
新規 ：2030 年度までに、Centro Paula Souza de Ensino 社と提携して 75,000 人にデジタルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供（2026 年度基準）。	2026 年度以降の進捗状況	
ヨーロッパ、中東、アフリカ (EMEA)		
2030 年度までに EMEA 全体の 1,000 万人にデジタルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供する。	470 万人	
2025 会計年度までに欧州連合 (EU) の 25 万人にサイバーセキュリティスキルのトレーニングを実施。	392,000 人	
2030 年度までに EU の 260 万人にデジタルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供する。	130 万人	
2032 会計年度までにアフリカの 300 万人を対象にデジタルスキルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを実施する（これは推定 2 億米ドルの現物出資に相当）。	180 万人。1 億 100 万米ドルの現物寄付	
新規 ：2030 会計年度までに EU の 150 万人と 5,000 人のインストラクタに Essential Foundation Skills のトレーニングを提供（2026 会計年度基準）。	2026 年度以降の進捗状況	
新規 ：2030 会計年度までに英国とアイルランドの 500,000 人にデジタルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供（2025 会計年度基準）。	110,000 人	
新規 ：2028 会計年度までにフランスの 230,000 人にデジタルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供（2026 会計年度基準）。	2026 年度以降の進捗状況	
新規 ：2030 会計年度までにサウジアラビアの 500,000 人にデジタルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供（2026会計年度基準）。	2026 年度以降の進捗状況	
新規 ：2029 会計年度までにエジプトの 25 万人にデジタルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供（2025 会計年度基準）。	115,000 人	
アジア太平洋地域、日本、中国 (APJC)		
2030 会計年度までに APJC 全体の 670 万人にデジタルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供。	340 万人	
2025 会計年度までにインドの 50 万人を対象にサイバーセキュリティスキルのトレーニングを実施する。	710,000 人	
2030 会計年度までにマレーシアの 141,000 人にデジタルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを実施する。	95,000 人	
ブルネイ、フィジー、インド、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイの全域で、2032 年までに年間 5 万人の女性を対象にデジタルスキルアップのトレーニングを実施する。	76,000 人の女性	
新規 ：2030 会計年度までにインドネシアの 500,000 人にデジタルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供（2025 会計年度基準）。	145,000 人	
新規 ：2027 会計年度までに韓国の 20,000 人にデジタルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供（2025 会計年度基準）。	9,000 人	
新規 ：2029 会計年度までに日本の 10 万人にデジタルとサイバーセキュリティスキルのトレーニングを提供（2025 会計年度基準）。	26,000 人	

1997 年以降の影響

2800 万

人の受講者数（世界累計）

195

か国

2025 会計年度のハイライト

530 万

人の受講者

12,200

の学術機関

60 以上

25 の認定に合わせた 60 以上のコース、最大 21 言語

97%

就職または教育の機会を得るのに Networking Academy が役立ったと回答した受講者の割合²

92%

のインストラクターが、Cisco Networking Academyのおかげで講師としての能力を高められたと述べています。³

注：国のサブ目標は、より広範な地域の目標に貢献します。会計年度で記述されている目標の進捗状況は、いずれも会計年度末までに測定されたものです。特に断りのない限り、記載されている目標は 2023 会計年度を基準としており、すべての目標の進捗状況は 2025 会計年度末までの累積値です。

¹ この目標タイムラインは、2032 会計年度から 2030 会計年度に前倒しされました（2023 会計年度基準）。

² 2025 会計年度に Cisco 認定資格取得コースに参加した受講者の成果調査に基づいています。

³ 積極的に活動している講師を対象とした 2025 会計年度のインストラクター調査を基にしています。

はじめに

コミュニティの復元力

シスコの危機対応

Cisco Foundation とソーシャルインパクトへの投資

スポットライト：インドで 5,000 万人の生活に貢献

Country Digital Acceleration

学習能力とデジタルスキル

■ コミュニティ支援

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望



コミュニティ支援

Cisco は 5 年前、十分なサービスを受けていないコミュニティの復元力構築を支援するために 3 億米ドルのコミットメントを行いました。Cisco は共に、持続的なインパクトを与え、革新を起こし、提供しました。

現在、Cisco のコミュニティエンゲージメントチームは、持続可能なインパクトを大規模に推進し続けるための取り組みを進化させています。Cisco は、長期的な社会的価値を生み出す人材とパートナーシップに投資を行っています。次の 3 つの柱を示しています。

- ・ **投資**：コミュニティのニーズを特定し、ブロードバンドやデジタル接続などの拡張性に優れたインフラストラクチャに資金を提供
- ・ **インキュベーション**：パイロットの共同作成、リーダーの能力開発、テクノロジーを活用した学校と組織の支援
- ・ **継続**：Cisco のエコシステムを利用した組み込みと拡大、パートナーシップの強化、成果の追跡

2025 会計年度のは、教育とテクノロジーが交わる高度なソリューションに重点を置きました。主要なパートナーシップは次のとおりです。

North Carolina A&T State University

Cisco と North Carolina A&T State University との戦略的パートナーシップは、実践的な学習の機会や学生向けの奨学金を提供し、確立されたパートナーシップのフレームワークを通じて、将来のテクノロジーリーダーの育成に取り組んでいます。この取り組みは、最近の寄付によって Association of Information Systems を支援し、Deese College of Business and Economics に AI イノベーションスペースを設立して、最先端の AI 学習とキャリア開発を推進しています。



「Cisco の投資により、最先端の安全なデジタル環境をキャンパスコミュニティに提供することができ、研究とイノベーションにおける国内的なリーダーとしての地位がさらに高まりました。」

- **Maurice D. Edington**, *President, University of the District of Columbia*

University of the District of Columbia (UDC)

Cisco は、430 万米ドルの現物寄付を通じ、UDC のデジタル変換の次の章を支援しています。この投資により、UDC の IT インフラストラクチャとサイバーセキュリティ機能が強化されます。そして、教員と学生に、より安全でインクルーシブで将来に備えたキャンパスを促進するツールと接続を提供します。

Winston Salem State University (WSSU)

Cisco は、トレーニング、キャリアフェア、リーダーシップイベントを通じて、WSSU のデジタル機能と学生の機会の向上を支援しています。このコラボレーションは、270 万米ドルの IT 刷新への寄付によってさらに強化されています。これにより、WSSU のセキュリティインフラストラクチャの強化、堅牢なデジタル基盤の確立、National Institute of Standards and Technology (NIST) への規則遵守が実現しました。

当社の従業員

2025 会計年度のハイライト

14

Cisco を働きがいのある会社
(Great Place To Work®)
のトップ 3 に選出

3

新しい基本原則が、AI 時代の
リーダーシップ、学習方法、
働き方を形作る

573,000

従業員のボランティア活動の
時間です。Cisco はさまざまな
還元方法の 1 つとしての時間
です。



はじめに

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

従業員の体験

スポットライト：AI 時代のスキルアップ

インクルージョン

従業員の社会貢献とボランティア活動

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望

**当社の従業員はパーパスの原動力です。
彼らは、学習、つながり、コラボレーション
への取り組みを通じて、Cisco のビジネスと、
受賞歴のあるCisco の文化を促進しています。**

働き方の世界はかつてないほど速く変化していますが、Cisco の最大の強みは今も Cisco 従業員であることです。これは、Cisco の文化の中心であり、イノベーションの推進力であり、Cisco が世界にプラスの影響をもたらすために欠かせないものです。

AI スキルアップ、コミュニティ構築、ハイブリッド接続、日常的なコラボレーションなどを通じて、従業員が成功できる職場を作りたいと考えています。Cisco の従業員が成長すると、お客様、コミュニティ、お互いのために、すべてに最善を尽くします。



従業員の体験

Cisco は、従業員の成長、Cisco の成功を後押しするために、可能な限り最高のワークプレイスを構築するよう努めています。

会計のは 2025 年度に、新たな指針となる原則を発表しました。これは、AI 時代のリード、学び方、働き方を形作るための実用的価値観です。これらは、従業員とエグゼクティブリーダーシップチームからの意見をもとに、ビジネス全体で共同で作成しました。

Cisco は基本原則に基づいて最も重要なスキルと行動に注力し、お客様とコミュニティの成功を促進しています。

チームの習慣を優先する

リーダーは Cisconian の経験に最も直接的な影響を与えます。実際、当社の社内調査によると、リーダーと毎週確認していた従業員は、組織の戦略に 33% 高い信頼性を示していました。

今日のグローバルでハイブリッドな職場環境では、リーダーが規範や習慣をこれまで以上に慎重に考え、成功を収める必要があります。そのため、当社では次のようなリーダーシップツールと能力開発の機会を提供しています。

- ・ [週次] チェックイン：すべての従業員に、週次のチェックインを完了するよう奨励し、過去 1 週間のことを振り返るよう促します（他にはどのようなものが気に入りましたか？気に入っているものは何ですか）と、今後の 1 週間の優先事項を説明します。
- ・ 四半期ごとのエンゲージメントパルス：リーダー主導のこの迅速なアンケートでは、10 の簡単な質問により、チームメンバーの意欲と意欲を測定します。
- ・ 隔年パフォーマンスと能力開発に関するディスカッション：このプロセスにより、従業員とリーダーの間に双方向の対話が作成され、継続的な明確性、説明責任が実現し、成長が促進されます。

2025 会計年度のハイライト

200 万以上

のチームスペースでのチェックインの件数

76%

の従業員がチェックインを完了



Cisco の基本方針



素晴らしいことを考えてみてください

好奇心を持ち、大胆に学ぶ
スマートなリスク選択

イノベーションの実現へ。
適応することです。
もう一度実行します。



目標を達成するための戦略

実数に対応し、コーチング
が可能であること

率直に意見を述べ、議論
することができたとき、
決定を下す

質、緊急度、説明責任を
持って実行



しっかりした成長の促進

お気に入りの製品と
エクスペリエンスでお
客様の成果を促進

One Cisco とプラットフォームの
パワーを受け入れる

Cisco の取り組みを Cisco
の優先事項と目的に接続



継続的な学習と能力開発への投資

次世代アーキテクチャを設計しているエンジニアや、新しい市場参入戦略を作成しているセールsteamは、学び、革新を起こすという意欲が Cisco を攻撃し続けます。

Cisco の従業員は、Cisco Networking Academy や Cisco U. などの業界をリードする外部プラットフォームや、Cisco Leader Fundamentals などの独自のトレーニングプログラムにアクセスできます。2025 会計年度には、Cisco の従業員の 89% が学習または能力開発サービスに自発的に参加し、37,000 人以上の従業員が AI に焦点を当てたサービスを完了しました（前年比 76% 増）。

従業員の健康と幸福の支援

Cisco では、幸福を望ましいものとは考えません。ビジネス上の必須課題であり、Cisco の基本原則の中核でもあります。

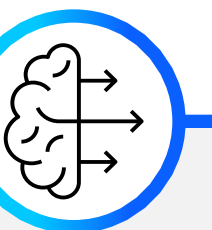
2025 会計年度のも、すべての Cisco の従業員の精神的な健康と幸福への投資を継続しました。そこで、従業員には、睡眠の改善、ストレスの管理、マインドフルネスの開発に役立つツールを無料で提供する Calm アプリを導入しました。リーダー向けには、「人間性を活かしたリーダーシップ」シリーズなど、多数の学習イベントを提供しました。これは、従業員のリスニング調査から得られたニーズに基づいた、調査に基づいたウェルビーイングシリーズです。

今年は、健康的な行動を促進し、つながりを育む、能動的従業員のコミュニティである「ウェルビーイングアンバサダー」プログラムも拡大しました。2025 会計年度には、500 人を超えるアンバサダーが、チームの活動と課題を通じて 4,800 人近くの従業員をサポートしました。これにより、ビジネス全体でウェルビーイングを活性化して支援する方法に大きな勢いが生まれました。



「ビジネスリーダーとして、メンタルヘルスとウェルビーイングを職場での日常生活に浸透させることが私たちの責任です。まずは従業員の声に耳を傾け、従業員が必要としているプログラムとリソースに投資し、リーダーが共感を持って働けるようにすることから始まります。この取り組みを実現できれば、従業員はサポートやつながりを感じられ、従業員もビジネスも成功することができます」

- Kelly Jones、最高人材活用責任者



すべて AI に対応

2025 会計年度には、従業員が People and Communities (HR) サービスとやり取りできるように AI を活用したデジタルエージェントである Ask P+C Assistant の試験運用を開始しました。「休暇を申請できますか？」から「親のメリットは何ですか？」に尋ねると、このアシスタントは従業員の要求を簡素化し、Cisco の従業員がすぐに回答できるようになることを目的としています。P+C に確認することで、人事に関する一般的な質問に 6 ~ 10 倍の速さで対応できるようになり、従業員は満足度が 20% 向上したと回答しています。

注目のピープル

AI 時代のスキルアップ

AI は私たちの働き方を変革しつつあり、従業員はその先を導いています。

[Cisco AI成熟度指標](#)によると、調査対象の組織の3分の1近くが、従業員のAIの積極的な導入に限界があると報告しています。Ciscoでは違います。

AI時代を成功させるには、最先端のテクノロジーだけでなく、人々への多額の投資が必要であるとCiscoは考えています。Ciscoは、CiscoのAIファーストのテクノロジーを利用する際に自社を「カスタマーゼロ」と考え、継続的にAIで学習し実験する文化を積極的に創出しています。

AIに関する調査の考察

私たちは2025会計年度に、従業員のAIツールの使用状況と、それがワークプレイスエクスペリエンスにどのような影響を与えているかについて、マルチモーダルな分析を実施しました。この調査では、次の3つの主要分野に焦点を当てました。

- ・ **導入**：AIの導入を進める最大の予測要因はリーダーです。Ciscoでは、リーダーがAIを使用している場合、自分もAIを使用する可能性が2倍になりました。定着率も指標の1つです。AIの使用率が最も高いのは、Ciscoに入社した1年未満または20年超の従業員です。
- ・ **経験**：Ciscoが支援したコースに加え、フォーカスグループの参加者の91%が、トライアルとエラーを経験しながらAIを学んでいました。
- ・ **影響**：AIはワークフローを強化するものです。優秀な従業員が日常のワークフローにAIを組み込むことで効率が向上し、優先順位の高い仕事に集中できるようになったのです。

これらのインサイトは、今後の全体的なAI従業員エクスペリエンス戦略の情報を収集し、策定するのに役立ちます。

すべての人向けのAI開発

すべての従業員を対象としたAIは、Ciscoの主要なAI学習プログラムであり、すべての従業員を対象としているため、技術的な背景知識は不要です。

CisconianがCisconian向けに作成したこのトレーニングは、わかりやすいレッスンと、実践的なAI演習を提供します。ペルソナベースの4つのモジュール（ユーザー、リーダー、イネーブルダー、ビルダー）では、基礎スキルからAIデータ分析までのロールベースの学習を提供します。この取り組みは、CiscoのAI学習戦略を移行し、広範なトレーニングから、より焦点を絞った、役割に関連したコンテンツに移行することを意味します。

これを補完する機能として、データプライバシー、インクルーシブな設計、ヒューマンインサイトの意思決定に焦点を当てたスタンドアロンのAIトレーニングも開発しました。従業員は、AIの導入に関してより慎重で倫理的な意思決定ができるようになっているのです。

CIRCUITの概要

2年前、Ciscoの最初のITエンタープライズチャットAIツールをリリースしました。しかし、従業員が生成AIを安全に使用するための簡単な方法として始まり、その後さまざまな方法に進化しました。

2025会計年度には、改良版のAIアシスタントであるCIRCUITをリリースしました。CiscoITが開発したこの内部ツールは、最新のAIモデルを1つのシステムに安全に統合します。

CIRCUITは、メールの下書きなどの日常的な作業から、無制限の詳細な調査まで、あらゆることを処理できます。さらに、AIテクノロジーとともに進化を続けているソリューションが、より複雑なデータへの対応、よりインテリジェントなエージェントの導入、真に接続された自動化されたワークフローの基盤の構築につながっています。

リリースされる各機能により、合理化かつシームレスなAIを活用した従業員向けの勤務環境が確実に従業員に提供されます。Ciscoグレードの信頼とセキュリティがその核となっています。



2025 会計年度のハイライト

66%

CIRCUIT を活用した従業員の割合

17 万人

CIRCUIT インタラクションの合計

インクルージョン

距離と違いを超えてつながることで、チームの強化、スマートなソリューション、大きな効果を実現できます。

インクルージョンは、単にCisco の文化の一部ではありません。世界中のコミュニティとお客様にイノベーションをもたらす、価値を創出する上で欠かせません。

インクルーシブなスキルの構築

Cisco は、すべての従業員が責任を持ってインクルーシブで協力的な環境を育む文化の創造に取り組んでいます。これを達成するために、継続的な人材開発とリーダーシップ開発の機会を従業員に提供しています。

最初に行われるトレーニングは、従業員が尊敬を育み、職場のハラスメントを識別できるようになることを目的としたトレーニングです。2025 会計年度のは、従業員の 83% がトレーニングを修了し、参加者の 96% が、コースの後に職場でのインクルーシブな行動を特定できたと報告しています。

さらに深く学びたい人向けに、触れ合いイニシアチブではリーダーと従業員が 1 対 1 で対話を行い、相手の実際の経験について詳しく知ることができます。2025 会計年度の [Great Place To Work®](#) を調査したところ、触れ合いイニシアチブのメンバーは帰属意識を体験する割合が 3 倍高くなっています。



「Cisco では、幅広い視点と経験を持ったグローバル戦力を擁しています。それが、チームにとってもお客様にとっても有益であること、そしてCisco のビジネスにとってもメリットがあることを認識しています」

- Brian Tippens、最高ソーシャルインパクトおよびインクルージョン責任者

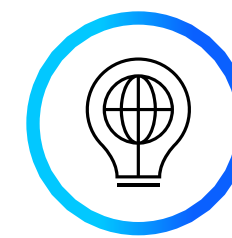


Cisco Veteran Leadership Program の第 1 号チーム

ベテランリーダーシッププログラムの紹介

Cisco は 2025 会計年度の Cisco Veteran Leadership Program を開始しました。これは、軍と民間のキャリアのギャップを解消することを目的とした取り組みです。このプログラムは、VETS インクルーシブコミュニティ内のボランティアが開発し管理したもので、最高人材活用責任者の Kelly Jones がエグゼクティブスポンサーを務めています。

100% の満足度を達成した最初の参加者は、「プログラムは、重要なリーダーシップの基礎を強化しました。また、実践的なチーム演習と洞察に満ちたディスカッションは、非常に価値がありました」と述べています。



中核におけるより多くの成果

[パーパスレポート](#)では、すべてのイベントとリーダーシップ能力開発の機会 (JJuMP、DARE、次世代リーダー、The Multiplier Effect など) の詳細をご覧ください。



はじめに

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

従業員の体験

スポットライト：AI 時代のスキルアップ

インクルージョン

従業員の社会貢献とボランティア活動

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望

インクルーシブなコミュニティを通じたコネクション

Cisco の従業員主導のインクルーシブコミュニティは、共有の経験や関心を持つ人々を結び付け、世界中のつながり、コラボレーション、学習、関与の促進を支援しています。Cisco 従業員の 3 分の 1 近くが、少なくとも 1 つの Cisco インクルーシブコミュニティのメンバーです。

2025 会計年度のハイライト

31

インクルーシブコミュニティ

345

支部

79

か国

1,200

ボランティアリーダーの人数



Adult Caregivers Network



Alzheimer's Support Network



Back to Business Network



Cancer Support Network



Cisco HAVEN



Conexión Latin Network



Connected Asian Affinity Network



Connected Black Professionals



Connected Disability & Neurodiversity



Connected Jewish Network



Diabetes Network



Cisco における新進の人材



Filipino Professional Network



Finance Women's Network



Green Team Network



Indians Connecting Network



Interfaith Network



Iranians & Friends Network



iWISE: Supply Chain



Lebanese at Cisco



Men for Inclusion



Mindfulness & Resilience Network



Native American Network



Palestinian Network at Cisco



PRIDE LGBTQ+ & Allies



Special Children's Network



Veteran Enablement & Troop Support



Women in Cybersecurity



Women in Science and Engineering



Women of Cisco



Women's Inventor Network

従業員の社会貢献とボランティア活動

社会貢献は Cisco の DNA の一部です。

パーパス、情熱、人を組み合わせると何が起こるでしょうか？

Cisco では、従業員がボランティア活動を行い、次のような福利厚生を提供することで、測定可能かつ有意義な効果をもたらしています。

- ・ **Time2Give**：ボランティア活動のための有給休暇を年間 80 時間提供
- ・ **マッチングギフトプログラム**：予定表、従業員 1 人あたり 10,000 米ドルのマッチング寄付（現金および株式の寄付と 1 時間あたり 10 米ドルのボランティア活動へのマッチング寄付を含む）

これらの行動はコミュニティのためだけでなく、従業員の積極的な参画にも貢献します。3 年間に及ぶ社内調査の結果、社会貢献を受けた Cisco の従業員は在職期間が長く、ボーナスも増え、同僚の評価も向上することがわかりました。

長期的な効果をもたらす

2025 会計年度年度は 6 年連続で、従業員の 80% を超える従業員が、ボランティア活動、寄付、大義への賛同、その他コミュニティにプラスの影響を与える活動による社会還元活動に参加しました。

従業員は、ハリケーン・ヘレン、ロサンゼルス山火事、テキサス州の洪水といった危機によって影響を受けたコミュニティなど、支援を必要とするコミュニティに惜しみなく資金を提供し続けました。

Cisco のインパクトの追跡は、20 の言語で利用可能なコミュニティインパクトポータルを常に利用しています。このデジタルプラットフォームにより、従業員はボランティア活動の時間を簡単に追跡したり、寄付をしたり、社会還元活動を行ったりすることができます。

Cisco はボランティア活動とマッチング寄付の対象となる非営利団体や NGO の数を増やし続けており、現在 100,000 を超える組織がマッチングギフトプログラムに参加しています。

2025 会計年度のハイライト

81%

の従業員がコミュニティに貢献する活動に参加しています

573,000

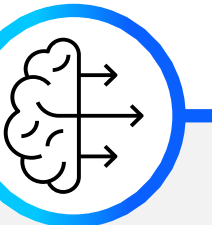
従業員がボランティア活動に費やした時間

3,300 万米ドル

従業員の寄付とマッチングギフトを通じて提供した金額



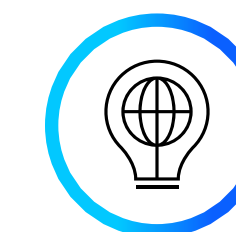
カリフォルニア州サンノゼで第 2 ハーベストを使用して食品キットを梱包する Cisco の従業員



すべて AI に対応

Cisco の [Tech for Social Good](#) プログラムでは、研修を受けた Cisco ボランティアに Cisco Foundation および Social Impact Investments の助成金を提供している組織をマッチングし、これらの非営利団体にデータアーキテクチャ、AI、業務効率などに関する戦略的コンサルティングを無料で提供しています。

非営利団体が AI を責任を持って舵を取り、適用するのを支援することも、この取り組みの成長分野です。2025 会計年度の、Cisco Tech for Social Good ボランティアが非営利団体 [EforAll](#) と提携し、世界中のより多くの起業家にリーチできるよう、事業やプログラミングで AI を活用することについてアドバイスを行いました。



中核におけるより多くの成果

[Camino de Santiago](#) トレールでの募金活動や、日本でのワイヤレス接続の設置など、[コミュニティへの貢献につながった事例](#)を他にも紹介します。

責任あるイノベーション

2025 会計年度のハイライト

最大

886B

Cisco Talosで処理される 1 日あたりのセキュリティイベント数

40,000以上

サイバーセキュリティ シミュレーションに参加した学習者の数

99.9%

Cisco のビジネス行動規範のトレーニングを修了した従業員の割合



はじめに

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

セキュリティ、プライバシー、信頼

スポットライト：責任ある AI の推進

人権とサプライチェーン

倫理と誠実さ

公共政策と提唱

ユーザー補助

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望

Cisco のテクノロジーは AI 時代において つながり、保護します。Cisco が構築する 製品とその構築方法においては、セキュリ ティ、プライバシー、信頼性、倫理を優先 順位付け。

テクノロジーには、ギャップを埋め、機会を創出し、機会を創出する力があります。ただし、その構築、展開、使用を、信頼を中心に据え安全に構築、展開、使用することが必要となります。

そのため、Cisco では責任あるイノベーションを仕事の中心に据えています。Cisco にとっては、セキュリティ、プライバシー、倫理を事業活動に組み込み、人権を尊重し、設計の段階からユーザー補助を考慮することを意味します。同時に、慎重な公共政策を策定して、テクノロジーが社会に与える影響についてガードレールを設定することも意味します。

Cisco が作成した製品から提唱する政策まで、イノベーションのあらゆる層に責任を組み込むことで、「すべての人のためにインクルーシブな未来を実現する」ことが実現します。

はじめに

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

■ セキュリティ、プライバシー、信頼

スポットライト：責任ある AI の推進

人権とサプライチェーン

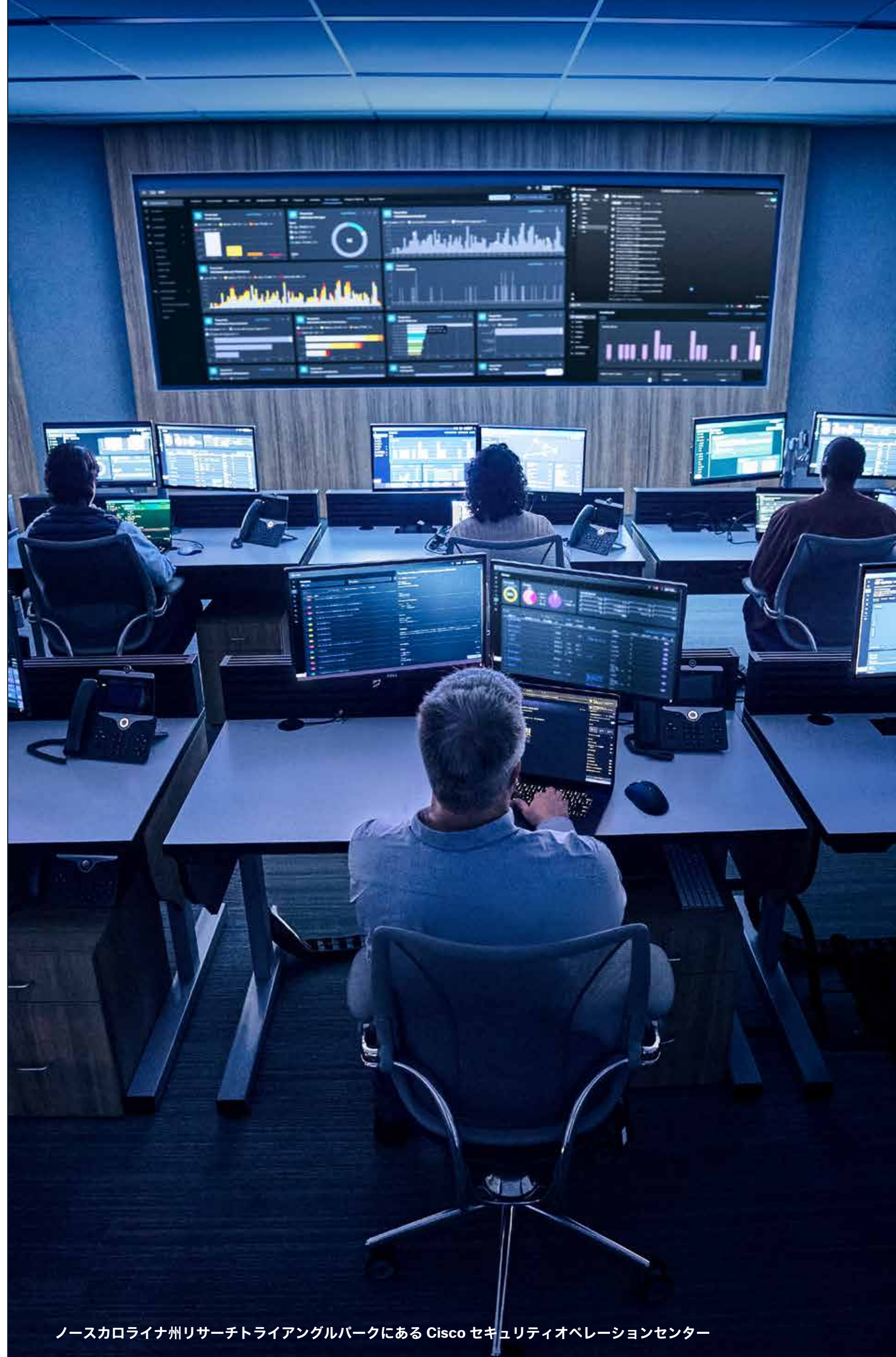
倫理と誠実さ

公共政策と提唱

ユーザー補助

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望



ノースカロライナ州リサーチトライアングルパークにある Cisco セキュリティオペレーションセンター

セキュリティ、プライバシー、信頼

イノベーションが加速する中、強固なセキュリティ、データ保護、プライバシーに対するニーズが、かつてないほど重要になっています。

ほぼすべてのものが接続され、データが生成されている世界では、テクノロジーは教育の改善から病気の治療に至るまで、私たちが抱える最大の課題を解決する可能性を秘めています。しかし、セキュリティとプライバシーを優先しなければ、こうした販売機会は増加します。

Cisco では、セキュリティとプライバシーを単なるチェックボックスではなく、責任あるイノベーションのビジネス上の必須事項であり基盤であると考えています。このイノベーションの鍵を握るのが、安全、信頼性、透徹的な、公平性、責任あるデータの使用を実現する統治です。これには、設計によるセキュリティ、プライバシー、責任ある AI の組み込み、ゼロトラストアーキテクチャの推進、脅威検出のための継続的なオペラビリティの実現が含まれます。

Cisco は、信用性、透明性、説明責任を中核とする原則に基づいて運営を行っています。2025 会計年度のも、Cisco の事業、データ管理プラクティス、製品、ソリューションを通じて、セキュリティとプライバシーに対する包括的なアプローチを採用しました。

グローバル データの保護

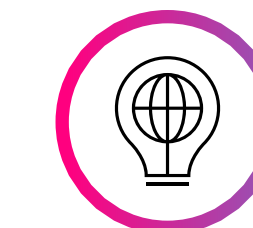
Cisco が [2025 年に実施したデータ プライバシーベンチマーク調査](#) によると、プライバシーは依然として顧客の信頼の中核となっており、調査回答者の 95% が、データを適切に保護しなければ購入できないと回答しています。

Cisco では、データを責任を持って使用するという取り組みを反映したプライバシーバイデザインのアプローチを採用しており、個人データ、お客様、企業データの取り扱い方法の基盤となっています。設計プロセスにプライバシー強化テクノロジーを組み込むことで、責任あるデータの使用、リスクの管理、ユーザーによる情報管理を強化します。

この取り組みは、Cisco の Privacy Center of Excellence (PCOE) を通じて実現されています。PCOE は当初、個人データの保護に焦点を当てましたが、2025 会計年度には、「産業データ」などの規制対象データや、スマートデバイスなどのコネクテッド製品によって生成されるデータも対象にしました。このデータは、主に商業上の考慮事項によって推進されていますが、ユーザーは、非個人データの可視性と制御の向上も求めています。

データの透明性の向上

PCOE は 2025 会計年度のに、Cisco 製品の開発者を対象にデータアンケートを実施して、データの収集方法、データの使用方法、データの保存場所などに関する情報を収集しました。その後、それらの回答を使用して、一般公開されているオファー開示情報が作成され、Cisco Trust Portal を通じてお客様と関係者に透明性を提供しました。



中核におけるより多くの成果

Cisco の [Trust Center](#) と [Trust Portal](#) では、Cisco のアプローチとソリューションがどのように業界標準を満たしているか、また、業界標準を上回っているかを説明しています。

はじめに

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

■ セキュリティ、プライバシー、信頼

スポットライト：責任ある AI の推進

人権とサプライチェーン

倫理と誠実さ

公共政策と提唱

ユーザー補助

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望

世界中のサイバーセキュリティの推進

データ侵害インシデントは、2021 年から 2024 年にかけて [70% 増加](#)し、平均データ侵害による損害額は推定 [490 万米ドル](#)に上ります。Cisco はサイバーセキュリティのリーダーとして、脅威から防御するためのテクノロジーを構築し、お客様、パートナー、コミュニティと専門知識を共有しています。

現在および将来の脅威への備え

攻撃者が、ネットワークインフラストラクチャを標的にする攻撃にシフトする中で、お客様が Cisco 機器をより安全に使用し、攻撃に対するレジリエンスを高められるよう、複数年にわたる取り組みを開始しました。

[より復元力のあるインフラストラクチャ](#)を促進するという Cisco の取り組みは、Cisco のソリューションとお客様のネットワークのセキュリティを強化し、安全でないネットワーク設定のリスクを軽減し、能動的検出と対応を提供して進化する脅威を保護します。

実践的なスキルを身に付けるために、実践的な「[フラグのキャプチャ](#)」[サイバーセキュリティシミュレーション](#)を対面とオンラインで開催しています。2025 会計年度には、世界中の 40,000 人を超える学習者が参加し、Cisco 製品を使用して脅威を防御しました。

また次のフロンティアである量子ネットワーキングとコンピューティングにも注目しています。暗号化キーのクラッキングを行う量子コンピュータのような新たな脅威を組織が保護できるよう、Cisco は[ポスト量子世界における暗号化](#)に関するリソースを公開しました。また、[Cisco Quantum Labs 施設](#)を稼働させ、実験、教育、トレーニング用のスペースを提供しています。

Cisco Talosを通じた信頼の構築

Cisco Talos の使命は、広範な脅威環境から Cisco のお客様を保護することです。Talos はカスタム構築された検出エンジンを使用して、Cisco のポートフォリオを 24 時間 365 日強化し、あらゆる環境、あらゆるイベント、毎日お客様を保護します。

Talos は、1 日あたり最大 8,860 億件のセキュリティイベントを分析しています。このデータの選別には、Talos のプレイブックでトレーニングを受けた ML エンジンを使用しています。最近では、次のような AI 機能強化を実現しています。

- ・ **SnortML** : Talos のエンジニアが作成した [SnortML は](#)、静的シグネチャではなくディープニューラルネットワークを使用して、エクスプロイト試行をより迅速かつ正確に検出します。



「Cisco Capture the Flag」を使用すると、お客様とパートナー様は、仮想および Cisco Live などの対面イベントで Cisco のテクノロジーを実際に体験することが可能

- ・ **Cisco Talos Domain Name System (DNS) セキュリティサービス** : DNS トンネリング攻撃を検出できるよう、数百万ものグローバルパターンに基づいてトレーニングされた AI ベースの [DNS Security サービス](#)を開発し Talos た。

Talos は2025 会計年度のに、200 件を超えるゼロデイ脆弱性（これまで知られていなかったセキュリティ脅威）を発見し、責任を持って開示しました。

脅威の検出は単独では実行できません。そのため、Talosはセキュリティコミュニティの教育と協力を尽力しています。60 を超える法執行機関のパートナーと協力し、無料の[オープンソースツール](#)を開発してリリースしています。Talosにより提供されるその他のサービスには、緊急サポートと能動的サポートを提供する [Cisco Talos インシデント対応チーム](#)と、クラウドベースの[脅威インテリジェンスサービス](#)の包括的なスイートが含まれます。



中核におけるより多くの成果

日本向けの重要な脅威インテリジェンスを提供している、東京にある [Cisco サイバーセキュリティセンターオブエクセレンス](#)の詳細をご覧ください。

責任あるイノベーション

責任ある AI の推進

AI 時代の接続と保護。

Cisco はその実現に向けて、責任を AI ミッションの基盤に据えました。

倫理的にイノベーションしながら AI の可能性を実現できるよう、[Cisco の責任ある AI の原則](#)（透明性、公平性、説明責任、プライバシー、セキュリティ、信頼性）に沿って AI 機能を提供、展開しています。これらの原則を、[Cisco Responsible AI フレームワーク](#)によって設計から実装しています。

Cisco は AI を提供、統合、展開する前に、AI の影響評価を実施しています。これには、原則とフレームワークに照らして基礎となるモデルとその技術的基盤を評価することが含まれます。これにより、AI を活用したテクノロジーがもたらす可能性がある固有のリスクをプロアクティブに特定し、管理し、軽減することができます。

AI 時代のリーダー

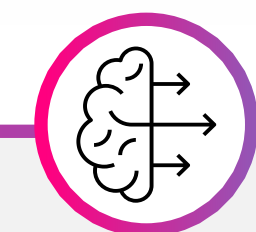
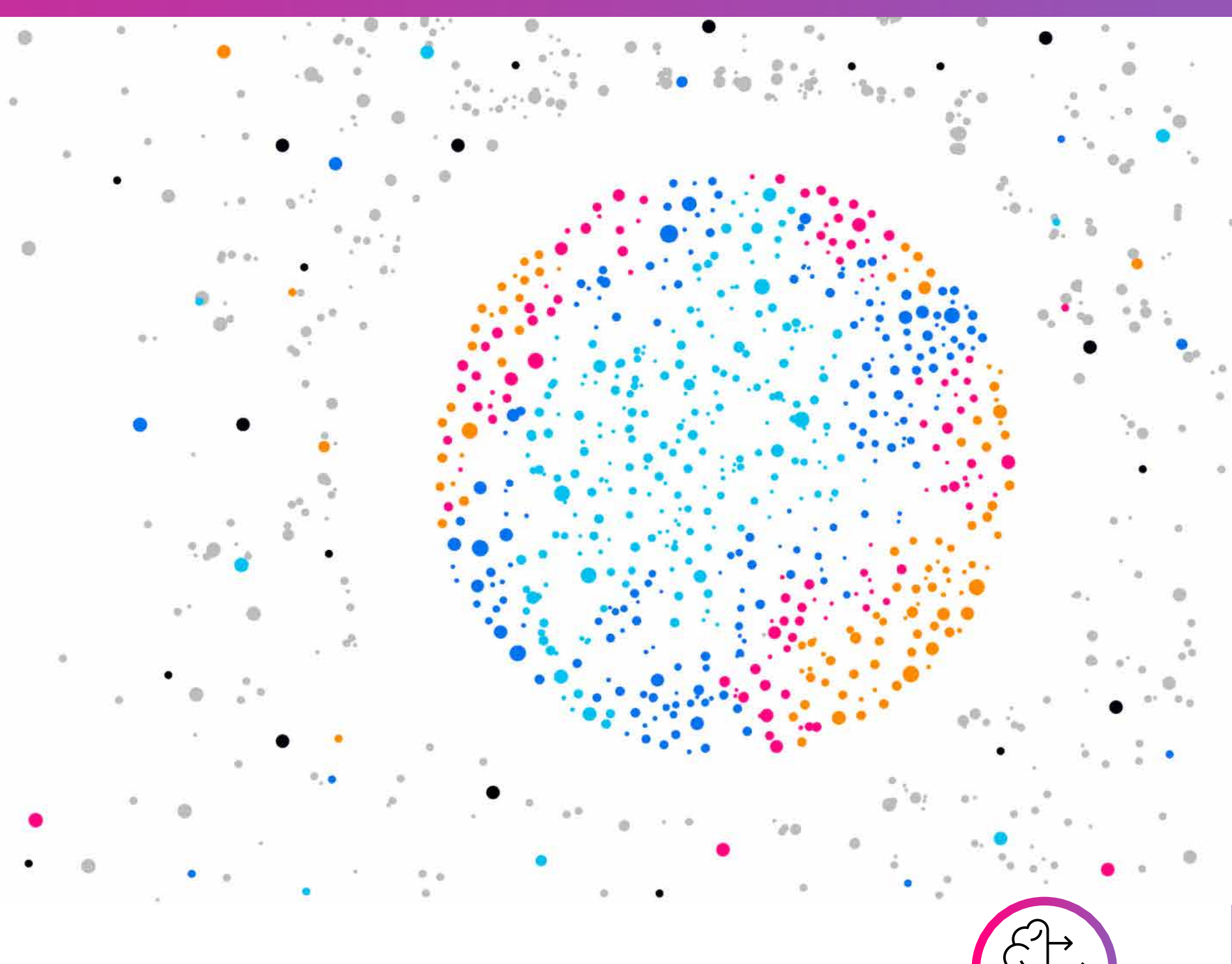
Cisco は、AI のライフサイクル全体に信頼と透明性を組み込んでおり、政府から民間部門に至るまで、世界中の人々に同様の取り組みを行うよう奨励しています。

Cisco は、[Coalition for Secure AI](#) の創設メンバーであることを誇りに思っており、セキュアな AI の研究、製品の開発、デプロイメントに特化した他の組織と連携しています。また、[AI ワークフォースコンソーシアム](#)の取り組みを主導し、同業他社と協力して、将来の従業員に必要なスキルアップのニーズを把握しています。

世界中の AI の未来を推進

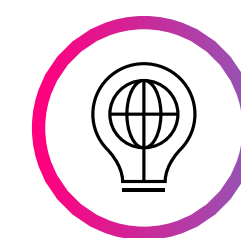
AI 時代の接続と保護には、グローバルなアプローチが必要です。Cisco は国内および国際的な AI 戦略の策定に積極的に参加し、各国政府に Cisco の意見と専門知識を提供して、AI に関連する規制と公共政策の改善を支援しています。2025 会計年度の Cisco が世界中で行ったさまざまなインパクトの一部をご紹介します。

- ・ **米国**：Cisco の Security and Trust 部門は、U.S. Cybersecurity & Infrastructure Security Agency (CISA) と協力して [AI Cybersecurity Collaboration Playbook](#) を開発しました。このプレイブックは、政府機関、民間部門、国際的な関係者の間で、より効果的な運用コラボレーションを実現します。
- ・ **サウジアラビア**：[HUMAIN 計画との Cisco の新しいイニシアチブ](#)は、サウジアラビアの AI インフラストラクチャをゼロから構築することを支援し、拡張性のある安全なクラウドベースのソリューションを提供して、英国の AI の目標を支えることを目指しています。Cisco CDA を通じた複数年にわたるイニシアチブの目的は、サウジアラビアをデジタルイノベーションのグローバルリーダーとして位置付けることです。
- ・ **インドネシア**：2025 年に発表されたインドネシアの「ゴールデン 2045 ビジョン」は、成長の促進とイノベーションの加速に焦点を当てています。例えば、NVIDIA などの主要パートナーと [AI Center of Excellence](#) を立ち上げ、2030 会計年度のまでに Cisco Networking Academy を通じて 50 万人のインドネシア人にスキルアップを図る予定です。



すべて AI に対応

AI テクノロジーの進化に伴って、潜在的な脅威も進化。2025 会計年度のにリリースされた [Cisco AI Defense](#) は、AI 時代に特化して構築された Cisco の次世代セキュリティソリューションです。高度な ML とグローバルな脅威インテリジェンスを組み合わせて、AI モデル、データパイプライン、AI 統合アプリケーションを標的とした攻撃を検出して軽減します。これは責任ある AI の強力な例であり、より迅速で安全なイノベーションを推進します。



中核におけるより多くの成果

新しくリリースされた [Cisco AI Security ポータル](#) で、AI システムとアプリケーションの保護に関するベストプラクティスとインサイトをご覧ください。

はじめに

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

セキュリティ、プライバシー、信頼

スポットライト：責任ある AI の推進

■ 人権とサプライチェーン

倫理と誠実さ

公共政策と提唱

ユーザー補助

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望



人権およびサプライチェーン

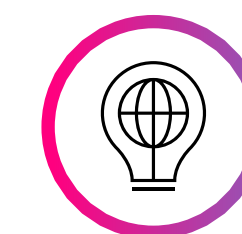
Cisco は、バリューチェーン全体を通じて、あらゆる場所ですべての人の人権の尊重に取り組んでいます。

Cisco は 2012 年に[グローバル人権ポリシー](#)を正式化し、サプライヤーに[Cisco のサプライヤー行動規範](#)に対する説明責任を求めています。この取り組みは、Cisco のビジネスおよび人権チームと責任あるサプライチェーンチームが主導しています。

共に、必要に応じて、人権に関する考慮をプロセス、ポリシー、運用に統合します。実際の人権への影響および潜在的な人権への影響を特定するためのデューデリジェンスを実施する関連するチームと従業員が、人権尊重への Cisco の取り組みを推進するために自分たちの役割を理解できるように努めています。

グローバル人権ポリシーとそれぞれの取り組みは、Cisco の最高法務責任者によって監督され、Cisco の取締役会の公共政策委員会に定期的に報告されます。

Cisco のグローバル人権ポリシーは、従業員、パートナー、サプライヤー、請負業者に適用されます。Cisco のサプライヤー行動規範は、サプライヤーや請負業者が Cisco と提携して責任を持って事業を展開するための具体的な基準を設定しています。



中核におけるより多くの成果

サプライチェーンを含め、Cisco がどのように人権を尊重しているかについては、[パーパスレポートハブ](#)をご覧ください。

人権の尊重

Cisco は、バリューチェーン全体で人権に与え得る影響を特定して軽減する取り組みを進めています。その一環として、Cisco 製品の製造に関わるすべての人々に適切な労働条件を提供するとともに、責任ある製品の設計と使用を推進しています。

リスクベースのデューデリジェンスの実施

Cisco は、リスクベースの人権デューデリジェンスを実施して、人権に関する潜在的なリスクと機会を特定しています。この取り組みにより、Cisco はグローバル市場で責任を持って事業を展開し、国際基準への規則遵守をさらに進め、持続可能なビジネスの成長を促進できました。

2025 会計年度に、顕著な人権リスクを特定し、人権プログラムを戦略的なビジネスの優先事項に合わせるために、人権重大度アセスメントを実施しました。顕著なリスクの一覧は、Cisco の[グローバル人権ポリシー](#)に記載されています。

Cisco は、人権ポリシーを遵守することで人権リスクに対処しています。影響を受ける可能性のある関係者および正当な代表者との連携人権デューデリジェンスと監査の実施 リスクを防止するためのトレーニングを、関連する従業員とビジネスパートナーに提供する実際の影響を修復するための取り組み学びを取り入れて継続的な改善に努めていますこの情報は、Cisco の[パーパスレポートハブ](#)で公開されています。

サプライチェーンにおける労働者の権利の尊重

サプライチェーン内で課題が発生した場合、Cisco は自らの影響力を活かして、より良い社会的および環境的成果を促進します。Cisco のビジネス目標をサポートし、Cisco のコミットメントと価値を共有しているサプライヤーと協力することを目指しています。Cisco の[ケーススタディ](#)で、[サプライチェーンにおいて労働者の権利](#)をどのように尊重しているかをご覧ください。

責任ある鉱物資源の調達

鉱物の採掘は、人々と生態系にリスクをもたらします。Cisco は、鉱山や処理者から鉱物を直接調達することはありませんが、Cisco の責任ある鉱物プログラムでは、Cisco の[責任ある鉱物調達ポリシー](#)に従って、責任を持って配置資材を調達するよう取り組んでいます。この取り組みは、Cisco の人権と環境への取り組みの一環です。

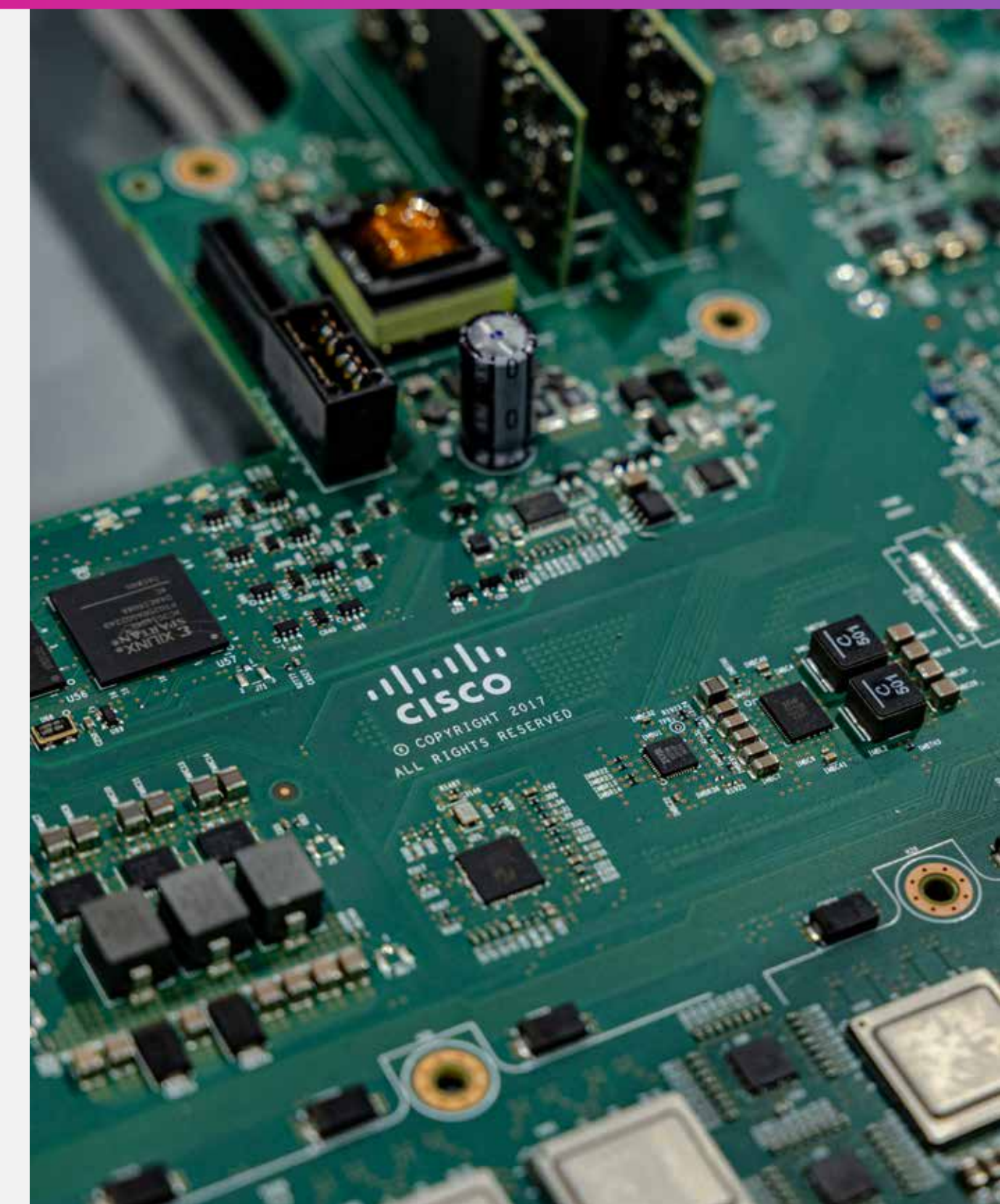
当社は、世界的なサプライチェーン活動と連携し、当社製品に使用される鉱物（スズ、タングステン、タンタル、金 (3TG)、アルミニウム、コバルト、銅、グラファイト、リチウム、ニッケルなど）が武力紛争、人権侵害、環境破壊に関連しないことを保証するよう努めています。

Cisco の製品とソリューションに人権を組み込む

Cisco は、製品チームやエンジニアリングチームと連携して、脆弱ユーザーのニーズ、Cisco 製品の想定内の使用と想定外の使用、独自のユースケースを考慮して、製品の設計における潜在的な人権リスクを特定し、対処しています。

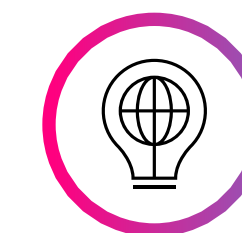
AI の時代には、この取り組みの重要性がますます高まっています。Cisco の AI ガバナンスプログラムと AI 影響評価により、人権に関連するものなど、潜在的なリスクを特定できます。

2025 会計年度のは、データエンリッチメントワーカーに関する人権影響評価のインサイトと推奨事項を引き続き使用しました。こうした従業員は、生データの価値を高め、実用的に移すことを目指し、リスクの防止と軽減を図っていました。この取り組みにより、AI データサプライチェーン全体で責任あるイノベーションを実現する取り組みがさらに強化されました。



報告に関する懸念事項

Cisco [倫理ライン](#)は、ライツホルダやその他のステークホルダーが、実際の人権問題または潜在的な人権問題を報告するための主要な苦情処理メカニズムです。サプライヤーが事業を展開している地域の労働者がこの文書を利用できるようにしており、提出者は現在、27 の言語から選択できるようになりました。



中核におけるより多くの成果

Cisco が鉱物サプライチェーンにどのようにデューデリジェンスを実施しているかについては、[パーパスレポートハブ](#)をご覧ください。

はじめに

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

セキュリティ、プライバシー、信頼
スポットライト：責任ある AI の推進
人権とサプライチェーン

■ 倫理と誠実さ

公共政策と提唱
ユーザー補助

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望

倫理と誠実さ

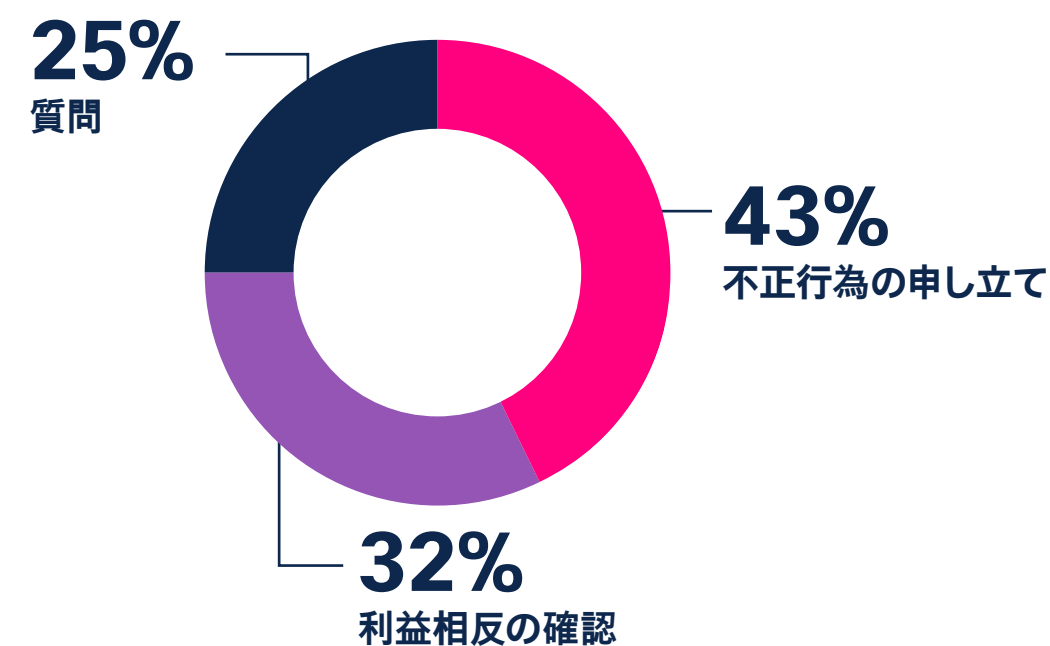
Cisco では、信頼は私たちが作るものだけでなく、その作成方法に組み込まれています。

お客様、パートナー様、関係者から得た信頼は、完全性なビジネスを行うという Cisco の継続的な取り組みのおかげです。当社は、従業員が倫理と規則遵守に個人的に責任を負うことを期待することで、この信頼を保護しています。

Cisco の [ビジネス行動規範](#) (当社の規範) は、私たちの日々の行動と意思決定の指針となる高い基準を体現しています。2025 会計年度のは、Cisco 従業員の 99.9% が Cisco の規範に関する年次トレーニングを修了し、遵守への取り組みを認定しました。

この信頼、透明性、個人的な責任の文化は、当社の倫理部にも反映されており、従業員やその他の Cisco のステークホルダーが、質問をしたり [懸念を報告したりする](#) 権限を与えられています。

FY25 倫理部との連携



2023 会計年度	2024 会計年度	2025 会計年度
1,644 件	1,784	1,748



コンプライアンスで AI を活用

規則遵守の問題を検出して防止できる高度な分析の可能性により、コーポレート統治の新時代が生まれています。この時代には、AI とデータサイエンスが事業運営の完全性を維持する上で中心的な役割を果たします。

2025 会計年度の、Cisco は ML の力を活用してリスク ID 機能を強化し、データを活用して非標準のふるまいを示す可能性のあるパターンや異常を特定しました。

公共政策と提唱

責任あるイノベーションは単独では実現できず、パートナーシップとポリシーによって支えられます。

Cisco の政府関連業務プログラムは世界中の政府と連携して、コネクテッド、安全性、競争力の高い未来の実現を支援しています。

Cisco は、次のようなポリシーを提唱しています。

- ・イノベーションとデジタル変換を促進
- ・競争力と公平な市場アクセスを確保
- ・接続、サイバーセキュリティ、AI、デジタルスキルへのアクセスを拡大
- ・政府/自治体向けの信頼できるパートナーとしての Cisco の位置付け

Cisco の広範なグローバルプレゼンス、技術力、カスタマーエクスペリエンスを活用することで、複雑なテクノロジーと効果的な公共政策のギャップを解消します。

2025 会計年度の、Cisco の政府関連業務チームは、世界中のお客様とコミュニティを対象に、ビジネスへの貢献と復元力の向上を推進しました。

高度なグローバル接続

米国、オーストラリア、サウジアラビア、韓国、インドネシア、ベトナム、コロンビアでは、免許不要の Wi-Fi 使用のために 6 GHz 帯域へのアクセスを開放または拡大するよう提唱しました。こうした取り組みにより、Wi-Fi 対応のイノベーションと、より高速で信頼性の高い接続が実現し、経済成長を促進し、デジタル サービスへのアクセスを向上させることができます。

6 GHz 帯域の利用を拡大することで、製造、教育、医療の各企業は高度なアプリケーションを使用できるようになりました。また、コミュニティはデジタル経済に全面的に参加できるようになりました。

セキュリティと復元力を強化

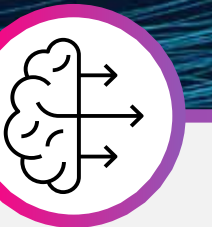
Cisco は、米国政府の技術的負債に対処するための条項を支持し、政策立案者と協力して米国商務省のサプライチェーンのセキュリティ改善に関する最終規則を策定しました。また、サプライチェーン法の中で、超人的なアメリカ連邦政府機器の保護 (SAFE) の提唱を主導しました。

共に、これらのマイルストーンが、旧式の機器や偽造機器の使用を減らし、重要なインフラストラクチャを保護し、信頼できる最新のテクノロジーに公共部門を振り向けることで、連邦政府の復元力を強化します。

公共部門のサイバーセキュリティと Cloud の導入を促進

日本と韓国では、クラウドサービスの導入を簡素化するために、日本と韓国のポリシーを高度化しました。これには、日本の重要インフラストラクチャ向けクラウド認定プログラム (ISMAP) と韓国の Cloud Security アシュアランスプログラムの更新が含まれていました。

これらの改善点は、各国のクラウドセキュリティ認定がグローバルマーケットプレイスで広く使用されている商用セキュリティ要件に適合することで、デジタル インフラストラクチャとデジタル公共サービスのセキュリティの強化、機密性の高い市民データのより効果的な保護に効果的です。

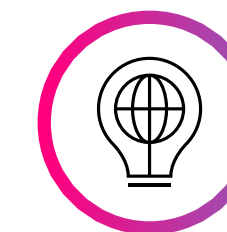


すべて AI に対応

Cisco は、AI の可能性を最大限に活用し、信頼性が高く透過的な革新的な AI エコシステムの実現に貢献する、バランスの取れたポリシーを提唱しています。

米国では、AI に関する U.S. House Bipartisan Task Force が積極的に関与し、リスクに対処しながらイノベーションを促進するバランスの取れたアプローチを提唱しました。また、ホワイトハウスの [アメリカ企業の誓い：AI 教育への投資に署名し](#)、今後 4 年間で米国を拠点とする [100 万人以上](#) の学習者に AI とデジタルスキルのトレーニングを提供することを目指しています。

サウジアラビアとアラブ首長国連邦では、Cisco の政府関連業務プログラムが、官民 AI パートナーシップの開発を支援しました。欧州では、Cisco が [EU AI Pact](#) に当初から署名し、責任ある AI の推進と促進に取り組んでいます。また、[Cisco AI Center](#) の開発を支援しました。責任ある AI イノベーションを加速し、政府、企業、組織間の戦略的な AI コラボレーションを促進するプラットフォームです。



中核におけるより多くの成果

アフリカは、世界で最も急成長している地域の 1 つであり、デジタル経済の拡大、急速な都市化、世界最大規模の AI ワークフォースの可能性がります。セキュアな接続を実現することは、アフリカのデジタル機会の可能性を最大限に引き出すための鍵です。[サイバー復元力](#)、[都市開発](#)、[従業員内部の AI](#)、[AI 時代の接続](#)に関する Cisco のホワイトペーパーをご覧ください。

はじめに

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

セキュリティ、プライバシー、信頼

スポットライト：責任ある AI の推進

人権とサプライチェーン

倫理と誠実さ

公共政策と提唱

■ **ユーザー補助**

エネルギー効率と持続可能性

今後の展望

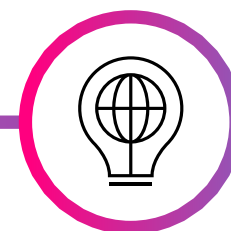
アクセシビリティ

すべての能力を備えた製品、プラットフォーム、ワークプレイスを設計することで、より責任あるイノベーションへの扉が開きます。

Cisco の [Access of Accessibility](#) (OoA) は、製品ライフサイクルと事業運営全体にわたって、ユーザー補助の実践とポリシーの全社的な導入を推進しています。このチームは、ユーザー補助、障がい、ニューロインクルージョンの専門家を結集し、仕事と職場の文化にユーザー補助とインクルーシブな設計を取り入れようとしています。

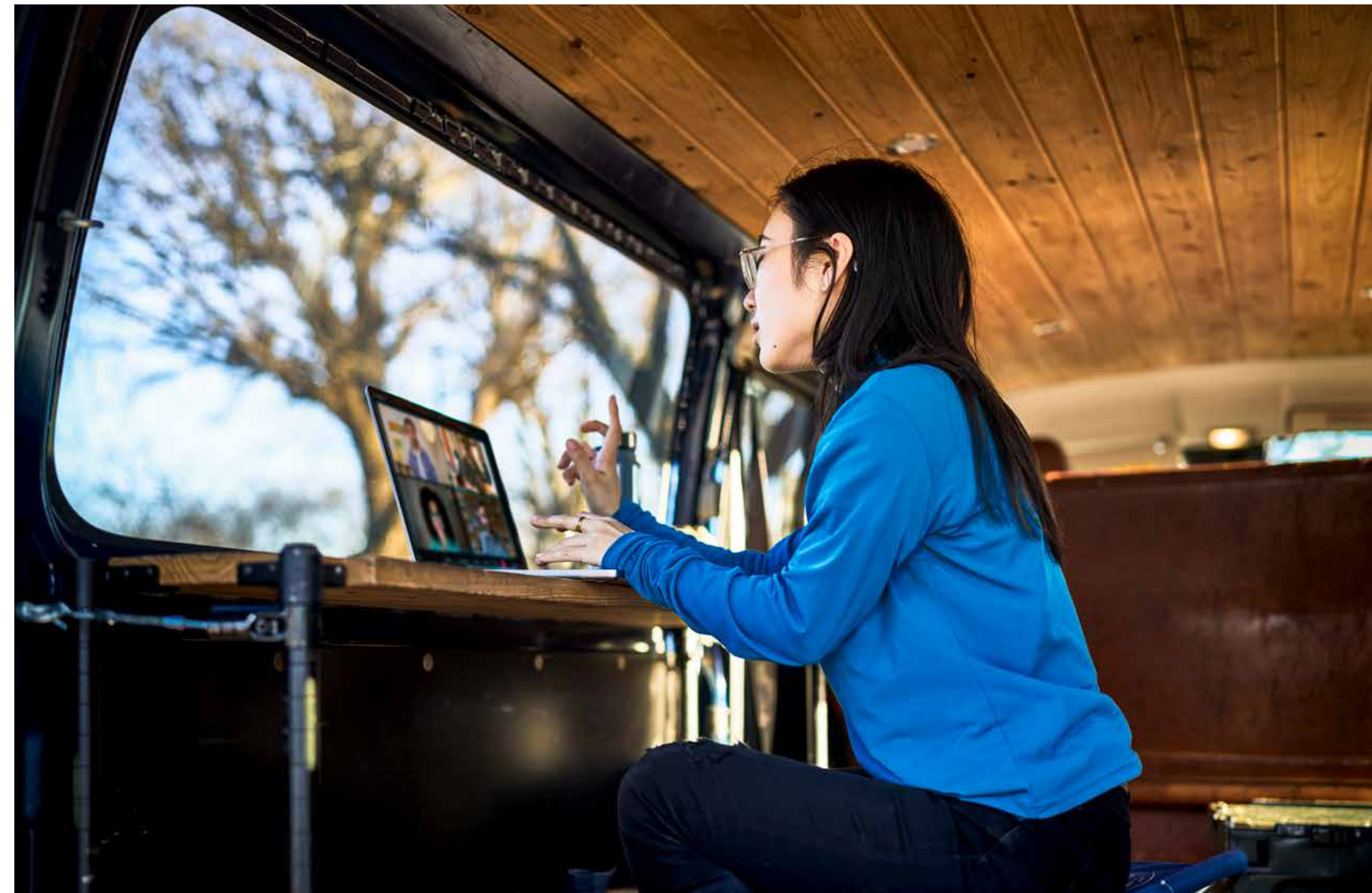
2025 会計年度の、OoA は、製品チームと、業務にユーザー補助を組み込んでいる従業員向けに、コンサルティングとアドバイザリを提供しました。これらの要求は、新しいユーザー補助ハブを通じて行うことができます。ハブは、従業員がユーザー補助のトレーニングやその他のリソースにアクセスできる社内のプラットフォームです。

また、コネクテッドディサビリティおよびニューロダイバーシティインクルーシブコミュニティと緊密に連携し、1 週間にわたるグローバルアクセシビリティ Awareness Week を開催するなど行いました。さらに、お客様と直接交渉して Cisco のユーザー補助機能を紹介し、障がい者からのフィードバックを収集するよう製品チームにアドバイスしました。



中核におけるより多くの成果

Cisco は 2025 会計年度のに、進化する国際的なユーザー補助標準に合わせて、デジタル資産と Web ベースの製品のユーザー補助適合性テスト基準を Web コンテンツアクセシビリティガイドライン (WCAG) 2.1 から [WCAG 2.2](#) に変更しました。



Webex におけるアクセシビリティの向上

Webex は、あらゆる能力やバックグラウンドを持つ人々が利用しやすい包括的なコラボレーションを実現できるよう取り組んでいます。昨年、次の機能を追加しました。

- ・ **コミュニケーションアクセシブルタイム翻訳 (CART) 手動キャプション**：会議の主催者が会議中にキャプションを直接割り当てることができるため、耳が聞こえにくい参加者のユーザー補助を向上させることができます。
- ・ **フラッシュコンテンツ検出**：点滅する共有コンテンツを検出し、画面を自動的に減算することで、発動作表などのアプリケーションの発攻撃リスクを最小限に抑えます。
- ・ **AI アシスタントの機能強化**：100 を超える言語でのリアルタイム翻訳、スマートメモ、「Catch Me Up」の要約機能により、すべてのユーザー（特に認知障害があるユーザーとネイティブスピーカーがいないユーザー）のエクスペリエンスを向上させます。

エネルギー効率 と持続可能性

2025 会計年度のハイライト¹

90%

スコープ 1 およびスコープ 2 の
排出量の削減 (2019 年度基準)

100%

Cisco が所有およびリースする
施設における世界の年間の電力
需要に見合う再生可能エネ
ルギー

100%

循環型設計の原則を導入した
Cisco の新製品と梱包の割合

¹ これらの目標の詳細については、41 ページと 43 ページを参照してください。

はじめに

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

クリーン エネルギー

循環型変革

スポットライト：100% 循環型設計の達成

復元力のあるエコシステム

今後の展望

**当社の製品、ソリューション、運用を通じて
エネルギー効率と復元力を促進し、Cisco、
お客様、世界中のコミュニティのサステナビ
リティの推進に貢献しています。**

イノベーションの未来は、エネルギーの未来にかかっています。そして、テクノロジーが
かつてないほど速く進歩している今、よりスマートで効率的なエネルギーソリューション
とサステナビリティソリューションの作成と拡張を支援するまたとない機会が生まれてい
ます。

私たちが製造する製品から運用する建物に至るまで、私たちの事業全体にサステナビリティ
が組み込まれています。今会計年度は、循環型設計とクリーンエネルギーの大きなマイルス
トーンを迎えています。



クリーンエネルギー

データセンターと AI の使用がサージにつれて、よりクリーンで効率的なエネルギーソリューションが求められています。

Cisco は長年、サステナビリティの行動によってイノベーションを促進し、より復元力のあるエネルギー供給を構築できると確信してきました。2008 年以来、Cisco はスコープ 1 および 2 の絶対排出量を削減するための意欲的な 5 年目標を設定しており、今年は重要なマイルストーンを迎えました。

2025 会計年度には、スコープ 1 とスコープ 2 の GHG 排出量を 90% 削減するという目標を達成しました（2019会計の基準）。¹ さらにCisco が所有およびリースする施設では、世界の年間の電力需要の 100% に対応する再生可能電力を調達しました。²

このマイルストーンの達成は、エネルギーとサステナビリティに対するCisco の長年の取り組みであり、今後の勢いも反映されています。2040 年までに GHG 排出量ネットゼロを達成するという目標に向けて活動する中で、スコープ 1 および 2 の絶対排出量を少なくとも 90% 削減する予定です。

サステナビリティへの取り組みの今後の展望

AI とデジタル化の成長に伴いCisco の事業用エネルギー需要の増加など、将来の現実に対応するためのアプローチの進化に取り組んでいます。

そのために、次の 3 つの重点分野を優先しました。

1. 世代を超えて製品のエネルギー効率を改善
2. Cisco のソリューションを活用して送電網を近代化して効率を改善し、多様で分散化したクリーンなエネルギー源を接続
3. クリーンエネルギーの導入とクリーンエネルギーへのアクセスのサポート




目標達成

ネットゼロの目標

2040 年度までに：スコープ 1、2、3 の絶対排出量を 90% 削減して GHG 排出量ネットゼロをバリューチェーン全体で達成する（2019 年度基準）。³

以下に示す短期目標で進捗状況を報告しています。

 2025 会計年度までに：スコープ 1 とスコープ 2 の絶対排出量を 90% 削減する（2019 年度基準）。 ⁴	<p>90% 削減¹</p>
<p>2030 年度までに：購入した製品とサービス、輸送および配送（上流）、販売した製品の使用によって排出されるスコープ 3 の絶対排出量を 30% 削減する（2019 年度基準）。⁵</p>	<p>35% 削減⁶</p>

¹ パーセントは、89.7% 削減から四捨五入されています。この四捨五入は表示のみを目的とし、基になるデータには影響を与えません。

² Cisco は、オンサイト更新、電力購入契約、エネルギー属性証明書などの契約上の取り決めなど、さまざまな方法でこのマイルストーンを達成しました。Cisco の再生可能エネルギー戦略については、[パーパスレポートハブ](#)をご覧ください。

³ 残りの10%の排出量については、同量を大気中から除去することで中和する計画です。

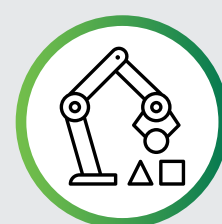
⁴ Cisco は、会計の活動からの残存排出量を相殺するという 2025 年度の目標を達成し、自発的に炭素を除去する手段を購入しました。

⁵ 2030 会計年度の目標について報告されたベースラインと進捗には、スコープ 3 カテゴリ 1 のサブセット（製造、コンポーネント、および倉庫のサプライヤーから購入した商品とサービス）、スコープ 3 カテゴリ 4 のサブセット（Cisco が購入した航空輸送からの上流の輸送と配送）、およびスコープ 3 カテゴリ 11 のすべて（販売した製品の使用）が含まれます。

⁶ 進捗状況は、当社が毎年販売する製品の数と種類に基づいて、前年比で変動するものと想定しています。

当社の CO2 排出量

Cisco の 2025 年度のカテゴリ別排出量と脱炭素戦略¹



36%
調達および製品製造
 (スコープ 3 カテゴリ 1 および 2)

Cisco の排出量の約 4 分の 1 は、購入した製品やサービス（資本財など）によるものです。具体的には、Cisco の部品や製品の製造と保管、事業をサポートする商品の調達などです。シスコはサプライヤと協力して、再生可能エネルギーの使用状況に関するインサイトを得ることで、排出量削減をサポートしています。



59%
製品の使用
 (スコープ 3 カテゴリ 11)

Cisco の排出量の大部分は、製品の使用中に消費されるエネルギーによるものです。Cisco は、冷却システム、光学部品、電源など、製品のエネルギー効率向上に投資するとともに、お客様の再生可能電力の使用と戦略を理解することで、排出量に対処しています。



3%
物流
 (スコープ 3 カテゴリ 4)

Cisco は、空輸よりも海運を優先し、排出量の少ない輸送方法へ移行するようサプライヤに働きかけることで、製品の上流での輸送や配送で生じる排出量に対処しています。



~2%
他のすべてのスコープ 3 排出量

Cisco の排出量には、従業員の出張や通勤、下流での製品輸送、燃料およびエネルギー関連活動など、スコープ 3 の他のカテゴリによるものもわずかに含まれています。現在、こうしたカテゴリの排出量を削減する機会を模索しています。



1% 未満
直接業務
 (スコープ 1 および 2)

Cisco の施設や資産の運用に伴う排出が排出量の < 1 % を占めていますが、シスコが直接管理できる排出もあります。シスコは、再生可能エネルギー、エネルギー効率、建物と車両の電動化に投資することで、こうした排出に取り組んでいます。

注：数値は四捨五入されているため、合計が 100% にならない場合があります。

¹ GHG 排出量の定量化と報告に使用されるデータ、データソース、手法は継続的に進化しています。Cisco のポリシーに従って計算とデータを継続的に強化しつつ、これらの事項に関する動向を監視するよう努めています。詳細については、パーパスレポートハブの[排出量データ](#)のセクションをご覧ください。

直接的な事業活動全体での持続可能性

Cisco は、効率化の推進から再生可能エネルギーの調達に至るまで、グローバルな事業活動全体で包括的なアプローチを図ることで、スコープ 1 およびスコープ 2 の GHG 排出削減目標を達成できました。

効率性と脱炭素化を推進

2025 会計年度は 78 件のエネルギー効率化プロジェクトを実施して、毎年約 11.5 GWh のエネルギー消費と 27,200 トン単位の二酸化炭素相当量 (CO₂ 相当量) を削減しました。

- ・ **建物**：AI と高度な分析を導入し、ラボ内のエネルギー、空気の流れ、冷却をモニタリングおよび最適化
- ・ **電化**：カリフォルニア州サンノゼとアイルランドのゴールウェイにある最初の建物の電化プロジェクトを完了。世界各地で進行中かつ計画中のプロジェクト
- ・ **使用車両**：ヨーロッパの従業員向けにリースの社用車で使用された電気自動車の割合が 2019 会計年度の 11% から 2025 会計年度には 66% に増加

2026 会計年度の展望：5 年エネルギー効率投資計画の最終年：当社は再生可能エネルギー、エネルギー効率、そして排出量を削減する建物の電化プロジェクトへの投資を継続していくつもりです。

再生可能エネルギーの調達

2025 会計年度には、Cisco が所有またはリースする施設² における世界の年間電力需要の 100% に一致する再生可能電力を調達しました。その際、次のような新しい[長期の電力購入契約](#)を取得しました。

- ・ **インド**：米国外では最大規模の Cisco のバンガロールキャンパスが、新しい 92 メガワット (MW) の太陽光発電と風力発電施設からの電力供給を開始しました。このシステムでは、年間約 181,400 メガワット時 (MWh) を発電すると予測されています。また、二重化電源も確立し、キャンパスでのディーゼル燃料の使用量を約 30% 削減できました。
- ・ **テキサス州**：Cisco は、172 MW の太陽光発電用の 2 件の統合リモート対応電力購入契約のアンカー購入者として活動しました。172 MW のうち、Cisco は 2 つの新規太陽光プロジェクトから 100 MW を調達する予定で、2027 年に稼働開始する予定です。

これらの取り組みを Together と、年間 500,000 MWh 以上の再生可能エネルギーを発電することになります。つまり、米国の約 72,000 提案の家庭の電力供給に必要なエネルギーとなります。これは、グリッドにさらに多くの再生可能エネルギー源を追加するとともに、再生可能エネルギー発電と Cisco の電力消費を一致させるという、より大規模な戦略の一部です。



インド、バンガロールにある Cisco のオフィス

2025 会計年度には、事業活動で再生可能燃料の使用も試験的に行いました。バンガロールでは、バックアップ電源のニーズの約 10% でバイオディーゼルを使用し、米国と英国にある Cisco の拠点では再生可能な天然ガスを調達しました。

不動産規模の最適化

サステナビリティと従業員のウェルビーイングを念頭に置いたスペースを作成して刷新することで、環境への影響と運用コストの削減を実現しつつ、従業員にとってより健康的なスペースを作ることができます。

2025 会計年度の時点で、45 の Cisco 施設が Leadership in Energy and Environmental Design (LEED) や WELL 建物の評価基準などの認定を取得しており、さらに 11 の施設が取得中です。これらのスペースは、現在、Cisco のグローバルな実数ポートフォリオの 21% を占めています。たとえば、当社のシンガポールのオフィスは LEED® と WELL Platinum 認定を取得し、エネルギー効率が標準規格に比べて 18% 向上しています。

また、構築された環境にインテリジェンスを取り込んでいます。[Cisco Spaces](#) を使用すると、センサーと Webex エンドポイントが会議室の設定を自動的に調整して快適性を高め、エネルギーを節約します。このスマート ビルディング テクノロジーは、サンフランシスコとニューヨークのオフィスで導入されています。

2025 会計年度のハイライト

90%

スコープ 1 および 2 の GHG 排出量を削減した割合 (2019 会計年度基準)¹

100%

Cisco の施設で消費される電力のうち、再生可能エネルギー由来電力の割合²

¹ パーセントは、89.7% 削減から四捨五入されています。この四捨五入は表示のみを目的とし、基になるデータには影響を与えません。

² Cisco は、オンサイト更新可能エネルギー、電力購入契約、エネルギー属性証明書などの契約上の取り決めなど、さまざまな方法でこのマイルストーンを達成しました。Cisco の再生可能エネルギー戦略については、[パーパスレポート](#) [ハブ](#)をご覧ください。

サプライヤをサポート

Cisco の排出量削減は始まりにすぎません。サプライヤへの支援も行っています。2025 会計年度には、支出額で Cisco のコンポーネント、製造、物流サプライヤの 80% が 2025 年度までに公開された絶対的な GHG 排出量削減目標を持つという目標を達成し、さらに上回りました。そのうち 88% が排出量削減目標を持っています。

Cisco は、タイのサプライヤと [ネットゼロの円卓会議](#) を開催しました。ビジネスパートナー、サプライヤ、現地の専門家が招集され、再生可能エネルギーの採用や製品の CO2 排出量の計算などの課題に取り組むことが可能になりました。

さらに、Cisco は 2 つの消費者ブランドと提携し、サプライヤが [アジアのクリーンな電力をより手頃な価格で利用できる](#) ようにしました。すでに 3 社の 4 つのサプライヤ拠点が、2025 年に約 2,800 万 KW のクリーンエネルギーを購入することを約束し、推定 16,717 トンの CO₂ 相当量の排出量を削減しました。

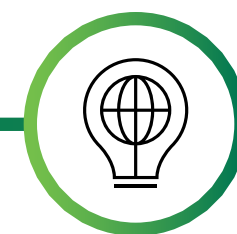
AI-Ready インフラストラクチャの推進

AI 時代に入って、Cisco は製品の効率化を目指し、パフォーマンスとセキュリティを向上させるために革新を続けています。2025 会計年度のは、データセンターとキャンパスネットワーク全体でバランスを取れるようにスイッチングポートフォリオの新製品をいくつか発表しました。

Cisco N9300 シリーズスマートスイッチの導入

N9300 シリーズスマートスイッチは、インテリジェントなネットワークングハードウェアとデータ処理ユニットを組み合わせているため、データセンターインフラストラクチャの簡素化と効率化に役立ちます。スマートスイッチは 2 つの処理エンジンを搭載し、インテリジェントにトラフィックをステアリングすることで、機能の強化、最適なパフォーマンス、エネルギー消費の削減、運用の簡素化を実現します。

N9300 シリーズは、Cisco Silicon One 処理チップを搭載しており、複数のネットワークロールとデバイス向けの統合アーキテクチャです。このイノベーションにより、より効率的なスイッチング製品とセキュリティ製品を提供し、キャパシティを向上させながら運用コストを削減できます。Cisco Silicon One の統一されたアーキテクチャにより、ルーティングデバイスとスイッチングデバイスの幅広いポートフォリオの開発がすでに実現しており、さらに多くのデバイスの開発が進行中です。



中核におけるより多くの成果

お客様、サプライヤ、パートナー様によるクリーンエネルギーの導入促進について、シスコがどのように支援できるかについては、当社の [クリーンエネルギーブレイブブック](#) をご覧ください。

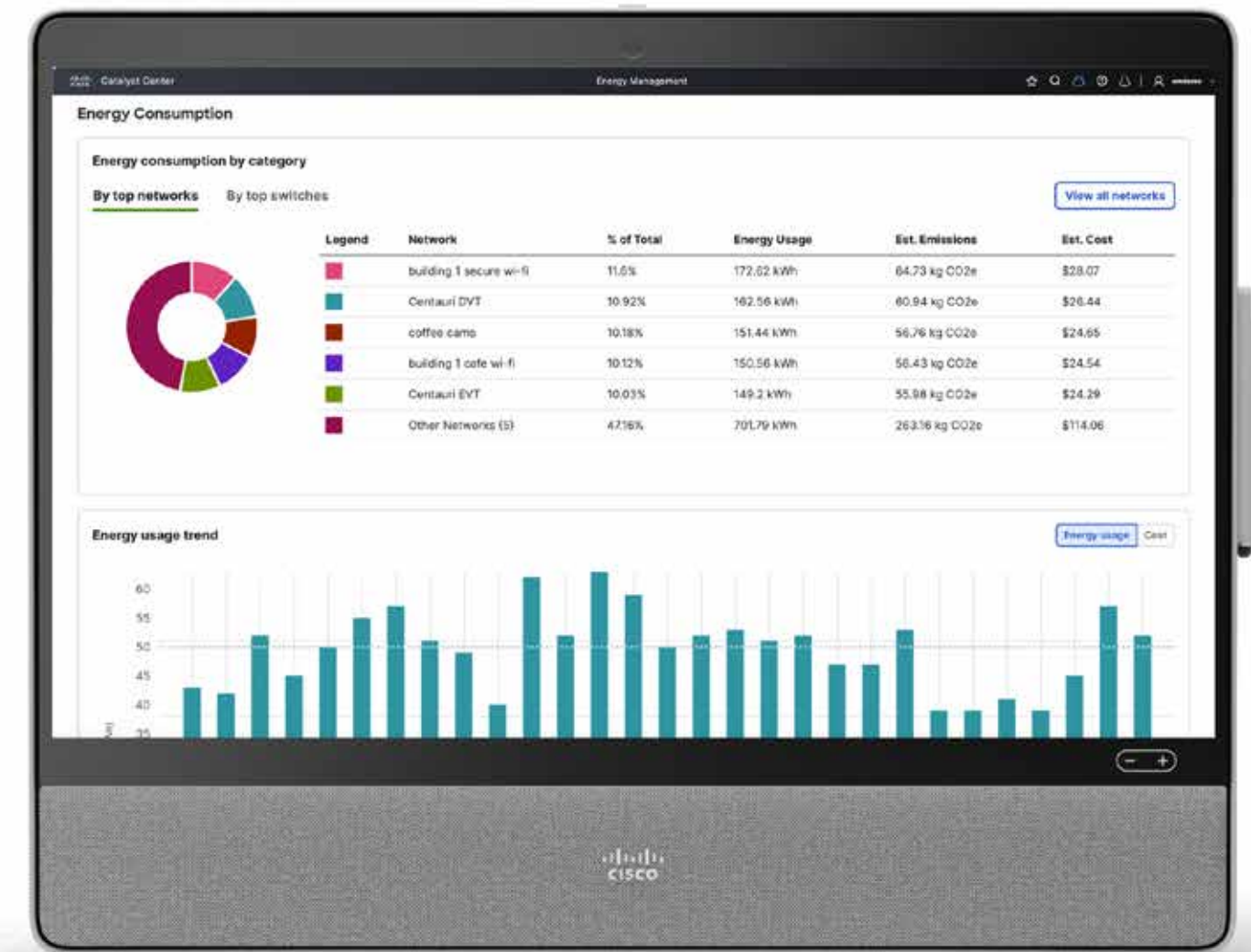
当社の製品を通じて効果を提供

企業スイッチング、企業ルーティング、データセンターネットワークングのポートフォリオにあるさらに複数の製品で ENERGY STAR® 認定を取得しました。この認定により、お客様は購入の判断でエネルギー効率をより簡単に考慮できるようになります。

Cisco の製品でどのようにエネルギー効率を推進しているかについては、[パーパスレポートハブ](#) をご覧ください。

エネルギーデータの可視性を向上

また、お客様がスマートなエネルギー利用を実現できるよう支援しています。Cisco のエネルギー管理機能により、エネルギーコストから総 GHG 排出量まで、5 つの主要指標が可視化されるため、お客様はデータに基づく意思決定が可能になります。2025 会計年度のは、Cisco Meraki ダッシュボード、Catalyst Center、Cisco Nexus Dashboard、Control Hub、Cisco SD-WAN などのプラットフォームでデータアクセスを拡大しました。Splunk との統合により、お客様はビューを統合できます。デバイス、サイト、または時間でデータをフィルタリング実用的傾向が明らかになります



Cisco のエネルギー管理機能により、データに基づく意思決定が可能になります

循環型変革

今、テクノロジーの設計、構築、使用、再利用の方法を見直す機会がこれまでになくあります。

製品と材料に再生性を与えることで、廃棄物を最小限に抑え、材料を最適化し、お客様と地域社会にとっても価値を生み出しています。こうした取り組みを通じて、Cisco は今年、重要なマイルストーンを迎えました。Cisco の新製品と梱包の 100% に循環型設計の原則が導入されました。¹ これに基づいて、2026 会計年度の新製品と梱包の 100% において循環型設計の原則を維持するという新たな目標を設定しました。¹

循環型変換に向けた Cisco のアプローチは次の 3 つです。

- ・ **循環型設計**：5 つの重点領域にわたり、[25 の循環型設計原則](#)に基づいて製品ライフサイクルを最初から最適化
- ・ **循環型製品**：[Cisco Refresh](#) や [Cisco Green Pay](#) などのプログラムにより、お客様とパートナー様が循環型の実践を導入
- ・ **回収と再展開**：[製品回収と再利用](#)プログラムを通じて、お客様の使用済みハードウェアを無料で回収して循環型ライフサイクルを推進します。



目標達成

循環型経済の原則を実現

<p>✓ 2025 会計年度までに：Cisco の新製品と梱包の 100% に循環型設計の原則を導入する。¹</p> <p>新規：2026 会計年度に、新製品と梱包の 100% で循環型設計の原則を維持する¹</p>	<p>100% が循環型設計の基準に適合</p>
<p>✓ 2025 会計年度までに：Cisco 製品の梱包に使用しているフォーム材を重量基準で 75% 削減する（2019 会計年度基準）。</p>	<p>78% 削減</p>
<p>✓ 2025 会計年度までに：製品の梱包効率を 50% 高める（2019 会計年度基準）。²</p>	<p>73% の累積改善率を達成</p>
<p>2025 会計年度までに：Cisco 製品に使用されるプラスチックの 50%（重量基準）をリサイクル素材にする。³</p>	<p>45% のリサイクル素材</p>
<p>✓ 2025 会計年度までに：Cisco の部品と製造のサプライヤの 70%（調達額の割合）が、1 つ以上の拠点で廃棄物ゼロ化を達成する。⁴</p>	<p>76%（調達額の割合）が、少なくとも 1 つの認定施設で達成</p>

ライフサイクルアセスメントの実施

ライフサイクルアセスメント（LCA）により、原材料を使用してから生産終了に至るまで、Cisco 製品の環境フットプリントに関するインサイトを得ることができます。Cisco は代表的な [LCA レポート](#) を発行して、製品設計を通知し、資源消費を削減し、サプライチェーンの効率を向上させるために使用しています。2025 会計年度に、Cisco のアプローチが国際標準化機構（ISO）14040/44 規格に準拠していることを確認する第三者機関による重要なレビューを実施しました。



循環型設計の原則が採用された Cisco C9407R スロットシャーシの写真。

¹ この目標の範囲は、ハードウェア製品とその梱包に限定されます。対象外：単体の部品（シャーシ、ASIC、光学モジュールなど）、単体の基本的な製品アクセサリ（電源ケーブルやブラケットなど）、相手先ブランド製造会社（OEM）の製品（Cisco が設計を所有していない場合）、統合されていない買収先の製品と梱包。75% 以上のスコアを達成した製品と梱包の設計は、この目標にカウントされます。

² 梱包効率は、容積重量を使用して製品サイズを梱包と比較することで測定しています。容積重量は、容積と標準容積係数を使用して計算した梱包重量です。この方法では、正規化した容積重量の基準値と本年度の差に基づいて梱包効率の指標が算出されます。この目標は、再設計する必要がある大量梱包に適用されます。

³ この目標が適用されないプラスチックもあります。汎用部品（プラスチック製のネジ、ファン、ケーブルなど）や、相手先ブランド設計製造業者が設計、製造した製品に含まれているプラスチックです。50% の目標は達成できませんでした。チームはイノベーションを推進し、サプライチェーン全体でコラボレーションを深めたので、再生プラスチックの使用が増加しました。

⁴ 認定プロトコルにおける現在の標準的な定義によると、「廃棄物ゼロ」転換とは、無害な固形廃棄物について、全体の 90% 以上を埋め立て、焼却、環境から転換すること（焼却からの転換とは廃棄物発電を行うこと）とされています。転換方法には削減、再利用、リサイクル、または堆肥化処理が含まれます。

注目のエネルギーと持続可能性

100% 循環型設計の達成

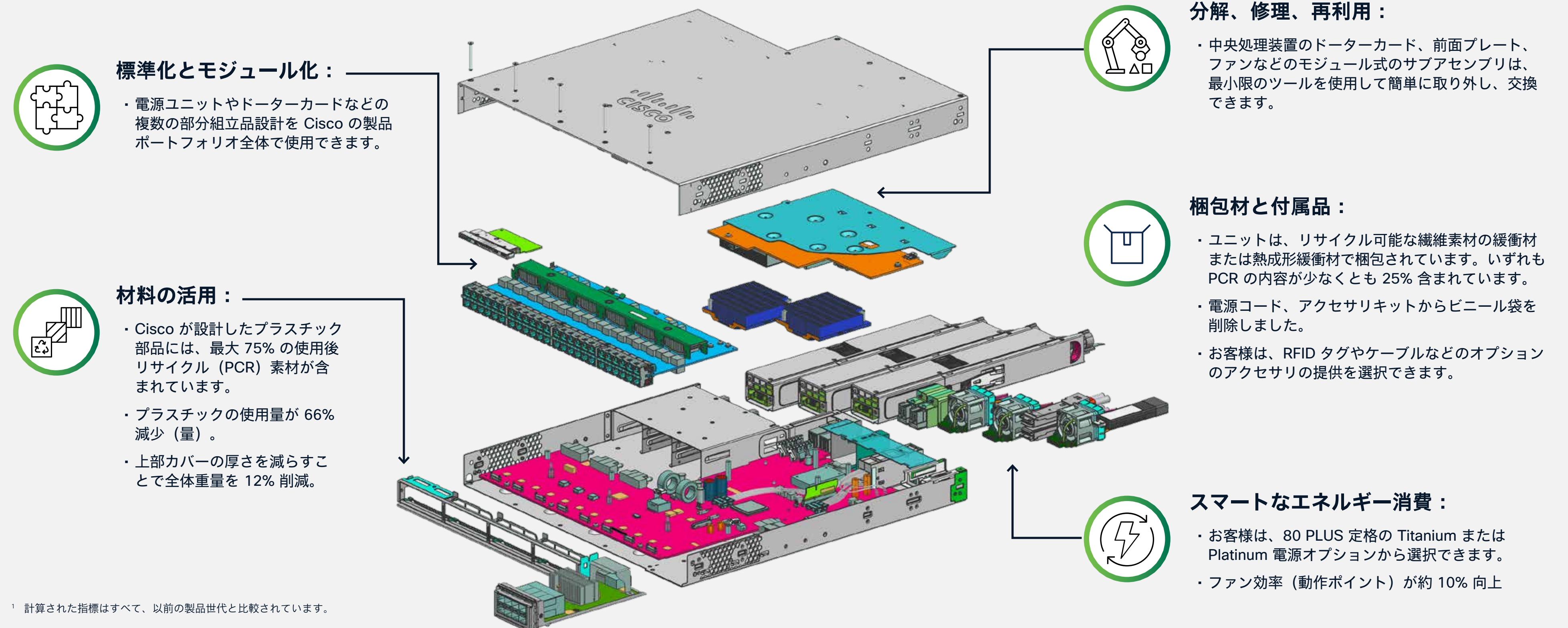
このマイルストーンは一夜にして到達したわけではなく、2019 会計のから始まった複数年にわたる取り組みの成果でした。

その後、製品と梱包の設計を評価し、循環型設計を製品開発に統合し、スコアリング方法を利用して進捗を追跡するプロセスを構築しました。現在、Cisco が開発した新しい製品と梱包には循環型設計を取り入れています。[これらの目標の進捗状況の詳細は以下のとおりです。](#)

Cisco は 2019 会計年度から、循環型梱包の目標を達成するために、[新規製品と旧製品の両方の製品の梱包](#)に循環型設計原則を取り入れています。2025 会計年度のは、梱包の発泡材削減目標を 78% 削減するとともに、梱包効率目標を達成して累積で 73% の改善を達成しました。

C9350 スマートスイッチの内部

循環型設計の原則がどのように導入されているかをご覧ください。¹



¹ 計算された指標はすべて、以前の製品世代と比較されています。

復元力のあるエコシステム

当社は、エコシステムがより強固になり、コミュニティが復元力を発揮できる未来の構築を目指しています。

Cisco は現在、より強固な未来を築くために、復元力のあるエコシステムに投資しています。実際、[World Resources Institute](#) の調査によると、気候への適応と自然を基盤とした復元力に 1 米ドル投資した場合、今後 10 年間で環境と社会的な利益の面で平均 10.50 米ドルが得られます。

Cisco は、復元力のあるエコシステムを支援するために、コミュニティが気候変動の現実に適応し、経済を変化させるためのスキルを育み、エコシステムと種の多様性を保護して回復できるように支援します。

イノベーションに投資する

Cisco Foundation は 2021 年、革新的な気候変動対策の多様なポートフォリオに投資するために 10 年間で 1 億米ドルを拠出することを約束しました。この取り組みは、以下の方法で実現します。

- ・ **非営利団体への助成金**：当社の[非営利団体への助成金](#)は、小規模農家や先住民のコミュニティなど、復元力のあるエコシステムに大きく依存している人々とコミュニティに投資することに重点を置いています。この取り組みでは、Terraso の[景観データ収集ツール](#)や、Digital Green の[農家向け AI を活用したアプリケーション](#)など、技術革新が中心的な役割を果たしています。
- ・ **インパクト投資**：[Renewative Future Fund](#) は、スタートアップ企業やベンチャーファンドへのインパクト投資手段であり、イノベーションのライフサイクル全体で気候変動対策を支援できます。AI ネイティブソリューションや AI を活用した事業 ([Miraterra](#) など) への投資で、土壌の健全性と成長データを ML で分析します。

こうした取り組みに加えて、同社のベンチャー投資部門である Cisco Investments は、Cisco のサステナビリティ目標とお客様の目標の達成に役立つ新興テクノロジー企業に投資するという[新たな重点領域を発表しました](#)。[最初の資金提供先となった 2 社](#)：クリーン波エネルギーを利用するスタートアップ CorPower オーディエンスと、地域規模で電子廃棄物に取り組んでいる組織である DEScycle であり、より持続可能でインクルーシブな未来を構築するための取り組みを体現しています。

危険性がある対象を一度に 1 つのネットワークで保護

サイ、ゾウ、ゾウ、スコア、センザン：正確な地域では、地球上で最も絶滅危惧種に該当する人が時代を先送りとしています。

2015 年以降、Cisco は [Connected Conservation Foundation](#) (CCF) と提携して状況を変えることに貢献し、13 カ国の 46 の保護地域に IoT と接続ツールを提供して、レンジャーが密接に保護され、実数で野生生物を保護できるようにしました。

しかし、動物を保護することは話の一部にすぎません。2025 年には、CCF と協力して [Protected Area Technician Training プログラム](#) を立ち上げました。このプログラムは、Cisco Networking Academy を通じて無料のグローバルコースを提供しており、保護テクノロジーの分野で現地でのキャリアをスタートさせるのに役立ちます。



気候変動対策に 1 億米ドルを拠出する Cisco Foundation の取り組みの進捗状況

2,400 万米ドル

助成金 (2021 会計年度以降)

2,500 万米ドル

投資額 (2021 会計年度以降)

4,900 万米ドル

合計価値



「気候変動対策の分野では驚くべきイノベーションが生まれています。これらの投資は資金提供だけではありません。今後数十年にわたってエコシステムを適応させるために必要となる、実績のある経済的に実行可能なソリューションを広く市場に提供することを示しています。」

— Mary de Wysocki, 最高サステナビリティ責任者

はじめに

コミュニティの復元力

Cisco の従業員

責任あるイノベーション

エネルギー効率と持続可能性

クリーン エネルギー

循環型変革

スポットライト：100% 循環型設計の達成

■ 復元力のあるエコシステム

今後の展望



水資源への影響への対処

水は、健全なコミュニティと生態系に不可欠であり、Cisco はこの共有資源の保護に取り組んでいます。

Cisco は、直接的な事業活動で責任を持って水資源を管理することで、影響に対処しています。2025 会計年度には、Cisco の直接的な事業活動に伴う取水量を 11% 削減しました。

また、サプライチェーン全体で水資源スチュワードシップを推進することも進めています。Cisco は、[Responsible Business Alliance](#) (RBA) を設立し、積極的に活動しているメンバーであり、RBA の行動規範を[サプライヤ行動規範](#)として正式に採用し、水スチュワードシップの要件に明示的に対応しています。さらに、Cisco の水資源スチュワードシップのアプローチは、国連の持続可能な開発目標 6：安全な水と衛生設備を構築することと、[Alliance for Water Stewardship \(AWS\) のフレームワーク](#)に沿ったものです。

2025 会計年度の、Cisco は AWS のメンバーとして、[AWS Collective Action Accelerator](#) へのサプライチェーンの参加を進めました。水資源スチュワードシップに対するこの協力的で場所ベースのアプローチは、複数の拠点を合わせることでコストの共有と効果の最大化を実現します。

95%

2025 年のCDPアンケートに「水」の項目に回答したCisco の主要サプライヤ¹の割合

当社の事業活動での廃棄物の削減

Cisco はグローバル施設全体で、廃棄物の削減、再利用、リサイクルに取り組んでいます。2025 会計年度には、合計 5,250 トンの廃棄物が発生し、当社の施設で発生した廃棄物の約 85% が世界中で埋め立て処分されるのを回避しました。当社は、再利用、リサイクル、堆肥化、寄付を組み合わせることでこれを達成しました。

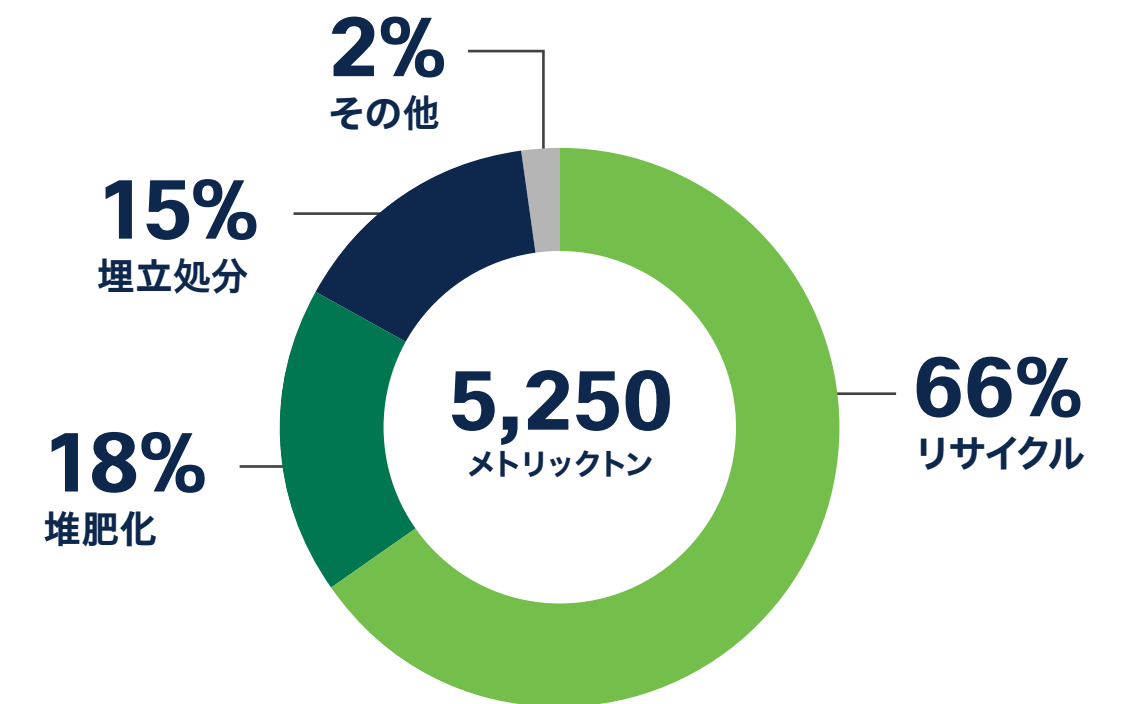
¹ 主要サプライヤとは、2025 会計年度の支出額の上位 80% を占めているCisco 契約製造業者、戦略的相手先ブランド設計製造業者、ハードウェアサプライヤのことです。

ベルギーの Smart Water Network の実現

Cisco の節水への取り組みは、Cisco の枠を超えて広がっており、お客様はCisco の製品とサービスを活用して目標を達成しています。[Compagnie Intercommunale Liegeoise des Eaus](#) (CILE) はベルギーの公益電力事業会社で、地域全体で 50 万人に水を提供しています。業務効率を高め、意思決定を改善するために、CILE 社は、3,500 km のパイプラインをまたがるセンサーのスマートネットワークの構築を目指しました。

Cisco のテクノロジーを利用して、CILE 社の独自の IoT電気通信ネットワークの構築を支援しました。結果として、水道システムは効率の改善、コストの削減、この地域の長期的なサステナビリティ目標の達成に貢献します。

FY25 事業廃棄物の流れ



注：数値は四捨五入されているため、合計が 100% にならない場合があります。

今後の 展望



Fran Katsoudas からのメッセージ

Learning とは、パーパスとビジネスが交わる場所です。

戦略が方向性を設定する場合、学習はその方向性を決定するものです。Learning は、Cisco のパーパスとビジネスが交わる最も明確な場所の 1 つです。デジタルと AI を備えた経済に誰もが参加できるように支援することは、持続可能な成長、長期的な信頼、成功の共有に不可欠です。人々が適応するスキルを持っている場合、組織はより迅速に行動し、復元力を高め、より大きな成果を上げます。

Cisco では、独自の能力への投資に意図的に取り組んできました。2025 会計年度には、37,000 人以上の従業員が AI に焦点を当てた学習を修了しました（前年比 76% 増）。これにより、イノベーションを起こし、仕事を再設計し、お客様に価値を提供する能力が強化されました。働き方が進化する中で、学習することは、リーダーが未来を実現し、勢いを加速する最も強力な方法の 1 つになりました。たとえば Cisco では、従業員がマネージャが話したときに AI を使用する可能性が 2 倍になり、一貫したユーザーの生産性やエンゲージメントが向上しました。

同時に、私たちの学習に対するコミットメントが自身のウォールで見つかったことはありませんでした。Cisco Networking Academy を通じて、2,800 万人以上の学習者がデジタル経済に参加するために必要なスキルの習得を支援しました。また、「Cisco との学び」を通じて、ホワイトハウスの「アメリカのユースケースへの誓い：AI 教育への投資」を支援し、米国全体で 100 万人を対象にトレーニングを実施しています。

12 月、IDC MarketScape により、Cisco はヨーロッパと北米の両方で IT トレーニング サービスのリーダーとして評価されました。¹ Cisco 社内で築いている自信と能力を世界中のパートナー、お客様、コミュニティに広げるため、より迅速に行動するよう奨励することが関係しています。

何百万件ものストーリー：Learning の効果

最近の会話では、教育の重要性と影響がはっきりと示されました。ケニアの Equity Bank と、十分なサービスを受けていない若者向けの学習プログラムについて話していたところ、同席している Cisco の同僚の 1 人がこのプログラムの修了生であることがわかりました。銀行の支援を受けたこの教育が、彼女の人生を大きく変えた事例を語ってくれました。この個人的な体験談は、Equity Bank の取り組みが現実世界にもたらす影響を浮き彫りにしました。Cisco Networking Academy でデジタル スキルを大規模に構築する方法を説明すると、同銀行のシニア リーダーが、次のように語っています。この投稿者は、Cisco Networking Academy を通じて Cisco Certified Network Associate (CCNA) を取得したと語っています。この経験が彼女のキャリアのきっかけとなり、現在のエグゼクティブ幹部につながっています。

Cisco のように広範囲に及ぶ企業で、自分たちの仕事の背景にある個別の事例をいつも話を聞くことができるわけではありませんが、聞いた場合、それらの話を聞いて影響を与えます。昨年の会計年度だけで、500 万人以上が Cisco Networking Academy に関わり、学習しました。つまり、このような事例が世界中で展開されているということです。どれも重要な取り組みであり、人々が将来に向けてより積極的に活動するための道筋を示すリマインダです。

パートナーシップでの Learning

Cisco が組織として学び続け、業界とのつながりを保つための重要な方法の 1 つが、AI ワークフォース コンソーシアムのリーダーシップです。このコラボレーションには、Cisco、Accenture、Speaker、Eightfield AI、Google、IBM、Indeed、Intel、Microsoft、SAP が集結しました。私たちは共に、G7 諸国全体で 50 を超える重要なテクノロジーとそれを支える役割を AI がどのように変革するのかをマッピングしています。さらに重要なのは、実用的な道筋を構築して人々が将来に備えられるようにすることです。





Cisco は、最先端のテクノロジー、実績ある信頼、人材、パーパスを土台として、強みを持って今を乗り越えることができます」

同[コンソーシアムが 2025 年に実施した調査](#)によると、仕事の 78% ですすでに AI スキルが必要とされています。ただしこれを見れば、人間のスキル（リーダーシップ、問題解決、イノベーション、コラボレーション、コミュニケーション）が最終的にどれだけの影響を与えるかが決まるということも明らかです。

こちらの調査でも、従業員の潜在能力を最大限に引き出すためには、継続的に学習する必要性が裏付けられています。それによると、Learning 開発スペシャリストが現在、米国とカナダで最も需要の高いテクノロジーサポート担当者であることがわかり、組織が AI 主導の経済において学習の俊敏性をいかに優先しているかがよくわかります。この信号は無視できません。Cisco では、AI 主導の未来に飛躍するためのスキルを従業員が身に付けられるように、新しい学習の役割と全社的な取り組みに投資することで、この状況に基づいて行動しています。

すべてを見直す許可

ケニアで経験したことのようなことが、どうすれば危険にさらされるのかがはっきりします。彼らは、私たちが貴重な時代に生きていることを思い出させます。今日は、すべてを見直す権限を与えてくれます。リソースをどう使うか。どのようなブレークスルーを追求すべきか。そして、どのようなタイプのヒューマンエクスペリエンスを実現したいでしょうか。

Cisco は、最先端のテクノロジー、実績ある信頼、人材、パーパスを土台として、強みを持って今を乗り切ることができます。しかし、その強みとは、共に進化する上で適切な質問を行うという責任です。

- ・ **業界のリーダーである** 私たちは、機会を拡大し、安全で信頼できるインクルーシブなイノベーションの標準規格を確立する市場をどのように形成しますか。
- ・ **「人材リーダー」として**、実数学習をモデル化するとともに、AI 自体を利用し、好奇心、勇気、思いやりが進歩を促進する文化を構築する方法を検討すべきでしょうか。
- ・ **そして、私たち個人として**、私たち全体の成功は最終的には成長する個人的な意欲にかかっていることを知って、どのように適応し、学び、どのように再調整するのでしょうか。

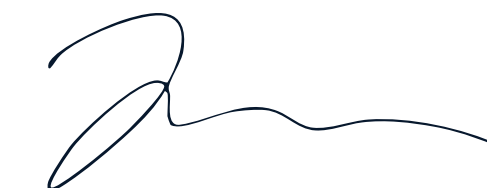
これらの質問は、私たちにとって理論だけではありません。2025 会計年度のは、Cisco はそれぞれの以下の実数で測定可能なコミットメントを回答しました。

- ・ 573,000 時間の従業員がボランティア活動に費やした時間、6 年連続でコミュニティへの貢献目標の 80% を達成

- ・ 31 の危機対応活動と 900 人超の従業員ボランティアによる危機的なコミュニティの支援
- ・ Cisco が所有およびリースする施設における世界の年間の電力需要に対応する 100% 再生可能エネルギー¹
- ・ 1 億 5,400 万人の生活にプラスの影響（Cisco Foundation とソーシャルインパクト投資）

これらの指標の背後には、復元力と可能性の拡大を実現した人間のストーリーがあります。私たちの責任は、この進展を確実に続けていくことです。人間としてのインクルーシブな信頼を基盤に、このように、私たちは学び、リーダーシップ、他の人が同じように行えるように支援することで、この瞬間に対処するのです。

よろしくお願いいたします。



Fran Katsoudas
エグゼクティブバイスプレジデント兼人材/
ポリシー/パーパス担当最高責任者

¹ Cisco は、オンサイト更新可能エネルギー、電力購入契約、エネルギー属性証明書などの契約上の取り決めなど、さまざまな方法でこのマイルストーンを達成しました。Cisco の再生可能エネルギー戦略については、[パーパスレポート](#)をご覧ください。



米国本社

サンノゼ（米国カリフォルニア州）

Asia Pacific Headquarters

シンガポール

Europe Headquarters

アムステルダム（オランダ）

シスコは世界各国に約 400 のオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト（www.cisco.com/go/offices）をご覧ください。

シスコおよびシスコのロゴは、米国およびその他の国におけるシスコおよびその関連会社の商標または登録商標です。Cisco の商標の一覧については、www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。（111OR）

© 2025 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved. This document is Cisco public information.

将来の見通しを示す記述

このレポートには、適宜修正される 1933 年証券法および 1934 年証券取引所法に基づいて定められたセーフハーバーの対象となる将来の見通しを示す記述が含まれています。史実に関する記述以外のすべての記述は、将来の見通しに関する記述とみなされる可能性があります。それらの記述は、シスコがビジネスを行っている業界に関する現在の期待、予想、予測、推定、およびシスコ経営陣の信念と想定に基づいています。「期待される」、「予期される」、「目指す」、「目標とする」、「推定される」、「意図する」、「計画する」、「信じる」、「向かっている」、「追求する」、「予想される」、「継続する」、「努める」、「取り組む」、「可能性がある」、およびそれらのバリエーションや類似表現は、そのような将来の見通しを示す記述を示すことを目的としています。さらに、次のものに言及するあらゆる記述も、将来の見通しを示す記述に該当します。（1）Cisco の目標、公約、プログラム、（2）Cisco の事業計画、取り組み、目的、（3）Cisco の想定と期待、（4）Cisco の企業責任のリスクと機会の範囲および影響、（5）第三者の基準および期待。これらの将来予想に関する記述は予測に過ぎず、SEC に提出された最新の Form 10-K および Form 10 に記載されているものを含め、予測が困難なリスク、不確実性、および仮定の影響を受けることにご注意ください。将来予想に関する記述は、作成日時点の見解のみを表明するものであり、当社は将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。

Cisco は、今後も ESG のイニシアチブ、目標、進捗状況について包み隠さず報告してまいります。最大限の進捗を目指して意欲的なタイムラインと目標を設定し、進捗状況を包み隠さず報告するよう努めています。

最近買収したデータを分析に必要なデータストリームに統合するには時間がかかります。したがって、特に断りのない限り、このレポートに記載されている情報には、前会計年度の終了前に完了した買収のデータが含まれています。

Cisco は、外部のサードパーティに対して、GHG スコープ 1、スコープ 2、スコープ 3 カテゴリ 3 の排出量に関する限定アシュアランス手順を実施しました。アシュアランスは、残りのスコープ 3 の排出カテゴリ、廃棄物、水のデータについては個別に実施します。詳細については、パーパスレポートハブの[データとアシュアランスのページ](#)をご覧ください。